

(案)

子ども・子育て支援事業計画



平成27年3月

目次

contents

第1章 計画の策定にあたって	1
1. 計画策定の背景と趣旨等	2
2. 計画の策定の位置付け	3
(1) 法的位置付け	3
(2) 計画体系における位置付け	4
(3) 計画の期間	4
3. 教育・保育提供区域の設定	5
第2章 子どもと子育てに係る現状と課題	7
1. 現状	8
(1) 人口等の状況	8
(2) 子どもの状況と子育ての実態	10
(3) 母子保健関連	13
(4) 女性の年齢別就業	16
(5) 児童虐待	17
2. これまでの子育て支援施策の分析・評価	18
3. ニーズ調査	30
(1) 調査の目的	30
(2) 調査分析の結果	31
4. 子育て座談会	47
(1) 開催主旨	47
(2) 実施要領	47
(3) 意見件数	47
(4) 主な意見	49
5. 調査からみえてきたこと	52
6. 子育てにおける本市の課題	53
(1) 働く場の多い地域特性を踏まえた保育サービスの量の確保	53
(2) 幼稚園の預かり保育の拡充や認定こども園の検討	53
(3) 利用ニーズの高い子育て支援センターの拡充	53
(4) 転入者や若い世代に対応した相談体制の充実	54
(5) 小学生のための安全な居場所の確保	54
(6) 子どもや子育て世代が安心して暮らせるまちづくりの推進	54
第3章 計画の基本的方向	55
1. 基本理念	56
2. 基本目標	57
3. 重点プロジェクト	59
4. 基本施策	60

5. 各教育・保育提供区域の設定	61
(1) 北部地域	61
(2) 中部地域	62
(3) 南部地域	63
第4章 施策の展開	65
基本目標 1 希望するすべての子どもが質の高い教育・保育施設を利用できるようにします	68
【基本施策】 1. 教育・保育施設の充実	68
【基本施策】 2. 保育サービスの充実	73
【基本施策】 3. 子どもの生きる力の育成に向けた教育環境の充実	79
【基本施策】 4. きめ細かな支援が必要な取組み	83
【基本施策】 5. 障がいのある子どもなどへの支援の充実	84
【基本施策】 6. 仕事と子育ての両立のための基盤整備	85
基本目標 2 すべての親が安心して子育てできる仕組みをつくります	86
【基本施策】 1. 地域における子育て支援サービスの充実	86
【基本施策】 2. 子育てネットワークづくり	88
【基本施策】 3. 子どもや母親の健康の確保	90
【基本施策】 4. 小児医療の充実	92
【基本施策】 5. 次代の親の育成	93
【基本施策】 6. 仕事と生活の調和の実現のための働き方の見直し	93
基本目標 3 子育てを地域全体で応援します	94
【基本施策】 1. 児童の健全育成	94
【基本施策】 2. 「食育」の推進	95
【基本施策】 3. 思春期保健対策の充実	96
【基本施策】 4. 家庭や地域の教育力の向上	96
【基本施策】 5. 児童虐待防止対策の充実	97
基本目標 4 すべての子どもが伸び伸び成長できる安全な環境を整備します	98
【基本施策】 1. 安心して過ごすことのできる住環境・遊び場の確保	98
【基本施策】 2. 安心・安全なまちづくりの推進	99
【基本施策】 3. 子どもの交通安全を確保するための活動の推進	100
【基本施策】 4. 子どもを犯罪等の被害から守るための活動の推進	101
《目標値の設定》	102
第5章 計画の推進	109
1. 点検・評価（PDCA）	110
2. 推進体制	111
資料編	113

第1章 計画の策定にあたって



1 計画策定の背景と趣旨等

人口減少、少子高齢化の進行により、子育て環境は大きく変化しています。また、核家族化が進み、子育ての孤立化から不安を抱く家庭も少なくありません。

女性の就労ニーズは高いにもかかわらず、幼児期の教育・保育施設の整備状況、子育て家庭を地域で支えられる環境づくり、待機児童の解消等、仕事と子育てを両立できる環境が十分でないことが、少子化の要因のひとつであると指摘されています。さらに、幼児期の教育を重視する家庭も少なくなく、保育機能と教育機能を併せ持つ「認定こども園」の設置が推進されており、質の高い教育ニーズと保育ニーズの双方に応えることが、行政に求められています。

地域においては、子どもを欲しいと思う人が子どもを持ち、子育てしやすい環境にしていくために、子どもや子どものいる家庭を地域全体が支える仕組みの構築が求められています。

これらに対応するため、国では、平成24年8月に「子ども・子育て支援法」、**「就学前の子どもに関する教育、保育等の総合的な提供の推進に関する法律の一部を改正する法律」**及び**「子ども・子育て支援法及び就学前の子どもに関する教育、保育等の総合的な提供の推進に関する法律の一部を改正する法律の施行に伴う関係法律の整備等に関する法律」**（いわゆる子育て関連3法）が成立しました。

平成27年度から開始される「子ども・子育て支援新制度」では、子育ての孤立感・負担感の増加や待機児童の増加、放課後児童クラブ（以下「学童クラブ」という。）の不足、女性の就労支援の不足への対応とともに、子ども・子育て支援の質と量の確保のため、「質の高い幼児期の学校教育・保育の総合的な提供」、「保育の量的拡大及び確保」、「地域における子ども・子育て支援の充実」の3つを柱とし、質の高い幼児期の学校教育・保育を総合的に提供し、地域の子ども・子育て支援を充実させ、すべての子どもが健やかに成長できる社会の実現を目指しています。

さらに、これまで推進してきた「次世代育成支援対策推進法」が10年間延長され、職場や地域における子育て支援の充実も継続して推進されます。

本市では、これまで子育て支援に関して、平成17年に「富里市次世代育成支援行動計画（前期計画）」を策定し、平成22年3月には「富里市次世代育成支援行動計画（後期計画）」を策定し、「子どもが健やかに生き生きと輝く富里 ～次世代につなげる“ゆめ、きぼう、よろこび”の創造」の実現に向け、子育て支援の充実と豊かな心を育む育成環境の整備に取り組んできました。

本計画は、「子ども・子育て支援新制度」へ円滑に移行するとともに、子育てを取り巻く新たな課題に積極的に取り組み、本市のすべての子どもたちが健やかな成長を支援するための行動指針として定めるものです。

2 計画の策定の位置付け

(1) 法的位置付け

本計画は、子ども・子育て支援法の基本理念を踏まえ、同法第61条に基づき、国が定める基本指針に即して策定します。

子ども・子育て支援法

(市町村子ども・子育て支援事業計画)

第61条 市町村は、基本指針に即して、五年を一期とする教育・保育及び地域子ども・子育て支援事業の提供体制の確保その他この法律に基づく業務の円滑な実施に関する計画を定めるものとする。

なお、本計画は、「次世代育成支援行動計画」の内容を引き継ぐとともに、「母子保健計画」及び「放課後子ども総合プラン」についても包含し、次世代育成支援対策推進法に基づく市町村行動計画の性格を持ち合わせ、一体的に策定するものとしします。

次世代育成支援対策推進法

(市町村行動計画)

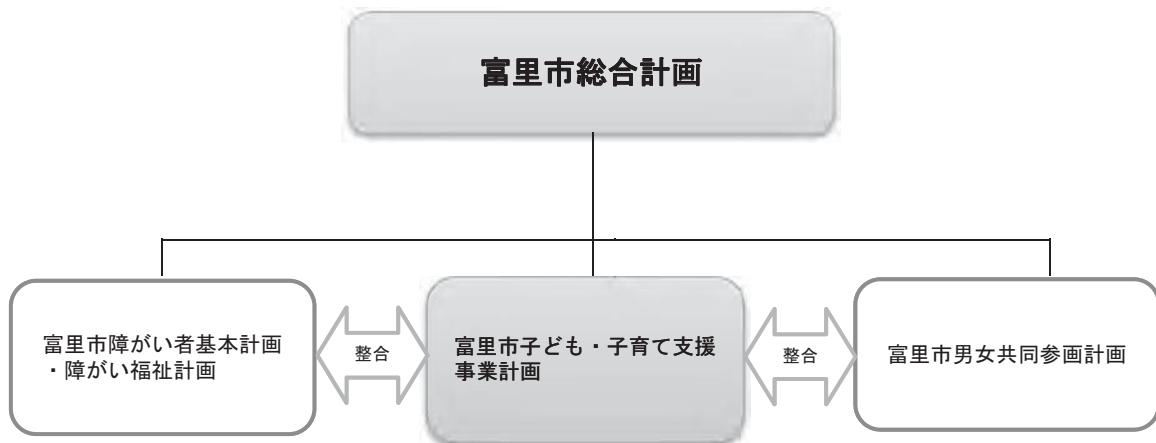
第8条 市町村は、行動計画策定指針に即して、五年ごとに、当該市町村の事務及び事業に関し、五年を一期として、地域における子育ての支援、母性並びに乳児及び幼児の健康の確保及び増進、子どもの心身の健やかな成長に資する教育環境の整備、子どもを育成する家庭に適した良質な住宅及び良好な居住環境の確保、職業生活と家庭生活との両立の推進その他の次世代育成支援対策の実施に関する計画（以下「市町村行動計画」という。）を策定するものとする。



(2) 計画体系における位置付け

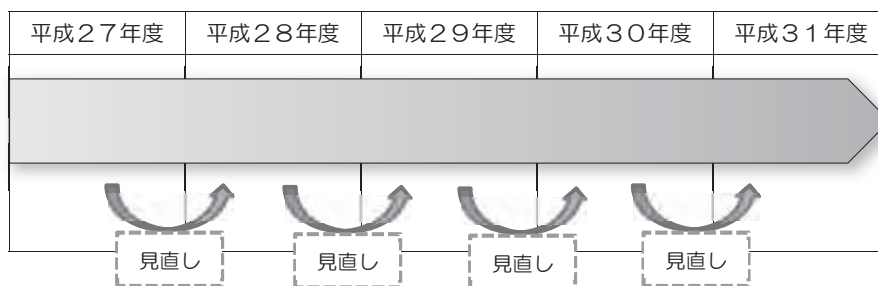
本計画は、「富里市総合計画」を上位計画とし、子ども・子育て支援分野の個別計画として位置付けられる計画です。

また、本計画に関連する計画として「富里市男女共同参画計画」や「富里市障がい者基本計画・障がい福祉計画」等と整合を図りながら進めていきます。



(3) 計画の期間

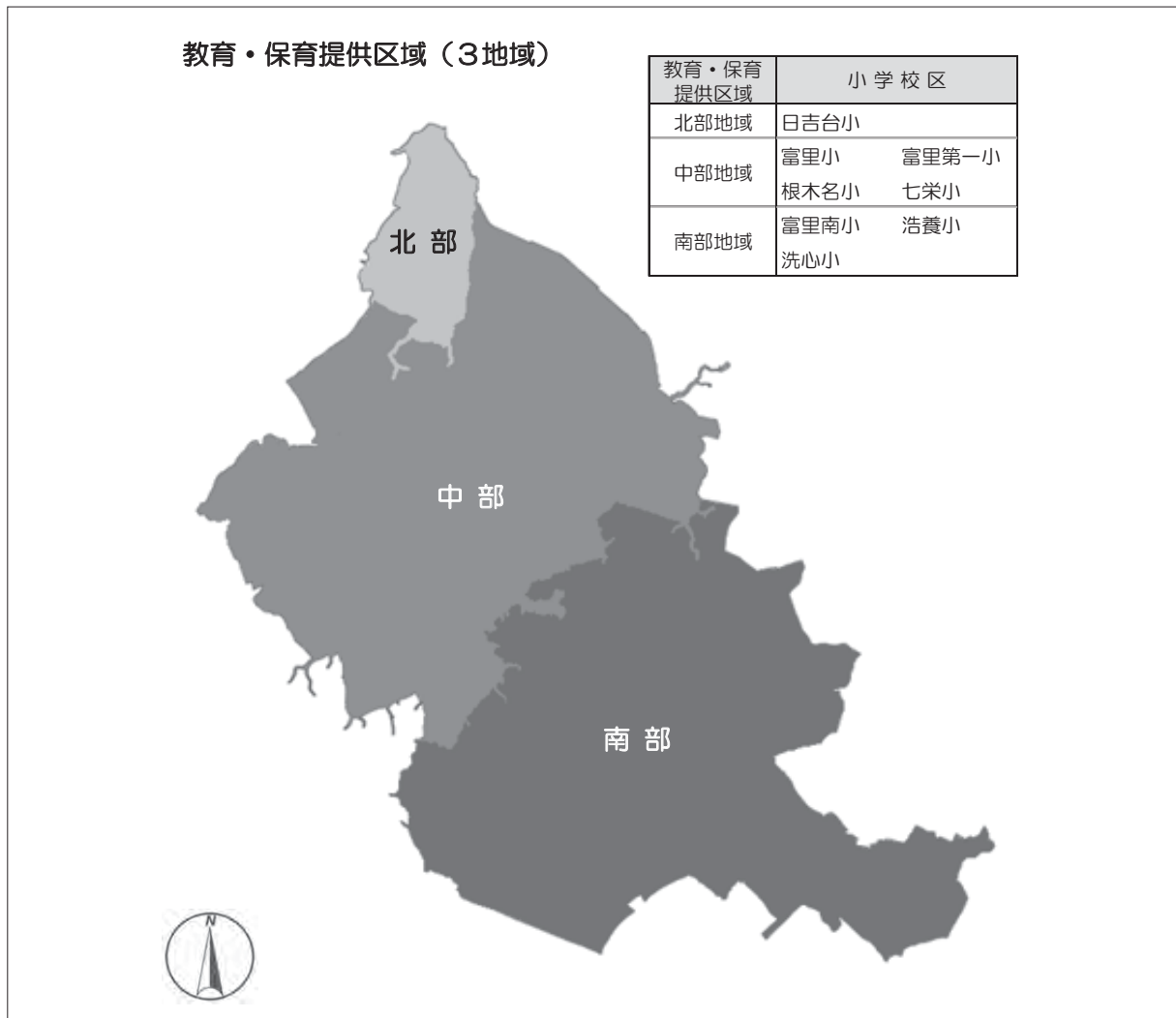
本計画の期間は、平成27年度から平成31年度までの5年間とし、年度ごとに進捗状況を確認し、適宜見直しを加えながら進めます。



③ 教育・保育提供区域の設定

各市町村は、教育・保育提供区域ごとに、教育・保育の量の見込み及び確保方策、地域子ども・子育て支援事業の量の見込み及び確保方策を定めることとなりました。

本市における教育・保育提供区域の設定については、地理的条件、人口、交通事情その他の社会的条件、教育・保育施設の整備の状況等を総合的に勘案するとともに、本市で推進しているジョイントスクール構想を踏まえ、富里北中学校区の「北部地域」、富里中学校区の「中部地域」、富里南中学校区の「南部地域」の3地域に分類し、幼児期から小・中学校における接続性や統一性をもった子育て支援の推進と就学前児童に対する小1プロブレムの解消を図ります。



第2章 子どもと子育てに係る現状と課題



1 現 状

(1) 人口等の状況

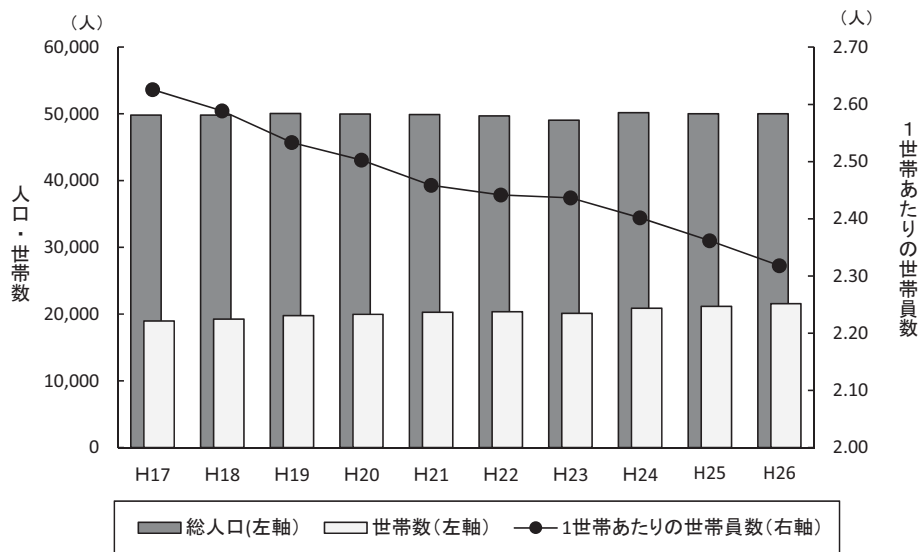
○富里市の総人口は、平成19年の50,075人をピークに減少傾向にあります。

※平成24年7月、住民基本台帳法の一部改正により外国人住民も住民基本台帳法の対象となったため、数値上は平成23年～24年にかけて増加していますが、外国人住民数（1,500人程度）を勘案すれば、減少基調にあります。

○人口減少の要因を自然動態と社会動態に分けて見てみると、平成24年より死亡数が出生数を上回っており、自然減となっています。一方、社会動態についても、平成20年より転出数が転入数を上回り、減少が続いています。なお、人口が減少する中でも世帯数は増加傾向にありますが、高齢者の単身世帯の増加等により1世帯あたりの世帯員数は減少しています。

○核家族率を見ると、富里市は59.26%（平成22年）と、千葉県全体（59.44%）を若干下回るものの、全国（56.22%）と比較すると、やや高い水準にあります。

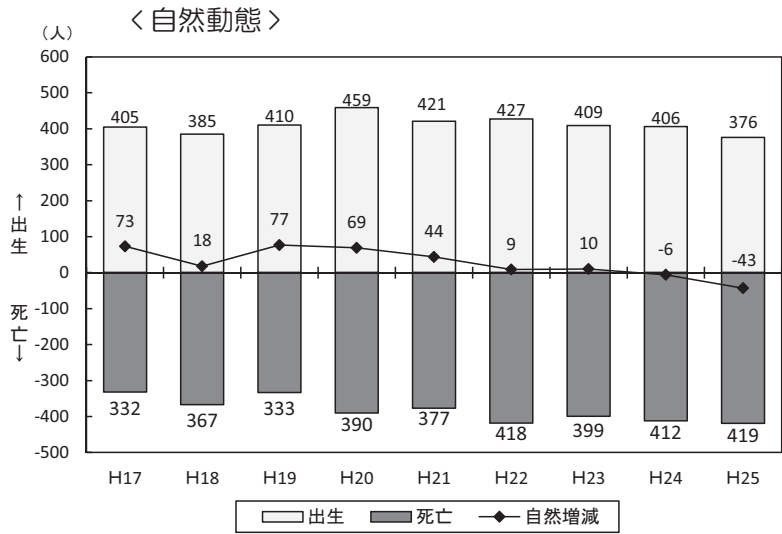
〈人口・世帯数と1世帯あたりの世帯員数の推移〉



	各年9月末		
	総人口	世帯数	1世帯あたりの世帯員数
H17	49,804	18,967	2.63
H18	49,825	19,248	2.59
H19	50,075	19,766	2.53
H20	49,984	19,971	2.50
H21	49,898	20,295	2.46
H22	49,697	20,354	2.44
H23	49,071	20,139	2.44
H24	50,165	20,887	2.40
H25	50,030	21,182	2.36
H26	50,030	21,581	2.32

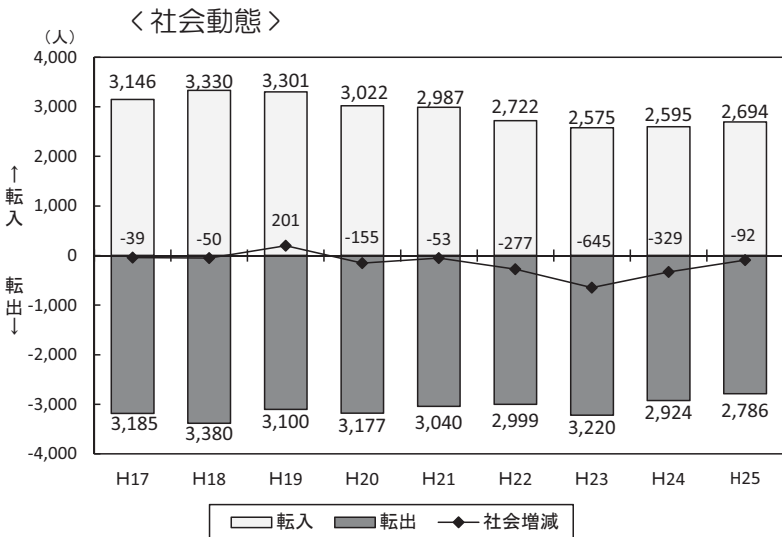
(出典)富里市統計書(住民基本台帳)

	各年9月末		
	出生	死亡	自然増減
H17	405	332	73
H18	385	367	18
H19	410	333	77
H20	459	390	69
H21	421	377	44
H22	427	418	9
H23	409	399	10
H24	406	412	▲6
H25	376	419	▲43



(出典) 富里市統計書(千葉県毎月常住人口調査)

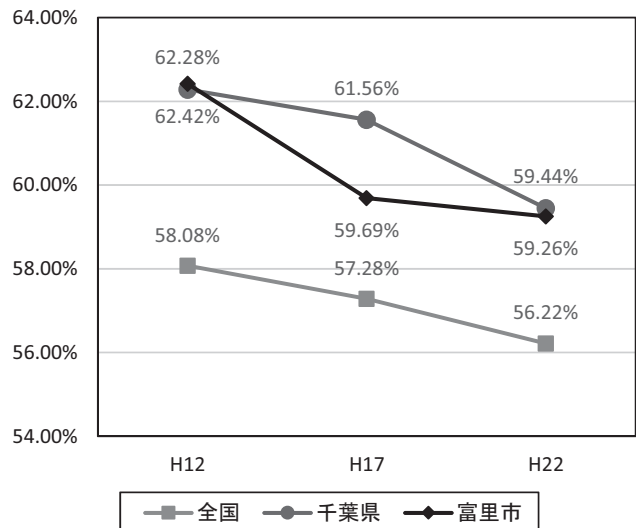
	各年9月末		
	転入	転出	社会増減
H17	3,146	3,185	▲39
H18	3,330	3,380	▲50
H19	3,301	3,100	201
H20	3,022	3,177	▲155
H21	2,987	3,040	▲53
H22	2,722	2,999	▲277
H23	2,575	3,220	▲645
H24	2,595	2,924	▲329
H25	2,694	2,786	▲92



(出典) 富里市統計書(千葉県毎月常住人口調査)

		H12	H17	H22
全 国	総世帯数	47,062,743	49,566,305	51,950,504
	核家族世帯数	27,332,035	28,393,707	29,206,899
	核家族率	58.08%	57.28%	56.22%
千 葉 県	総世帯数	2,173,312	2,325,232	2,515,904
	核家族世帯数	1,353,599	1,431,350	1,495,540
	核家族率	62.28%	61.56%	59.44%
富 里 市	総世帯数	17,102	18,652	19,701
	核家族世帯数	10,675	11,133	11,674
	核家族率	62.42%	59.69%	59.26%

〈核家族率の推移〉



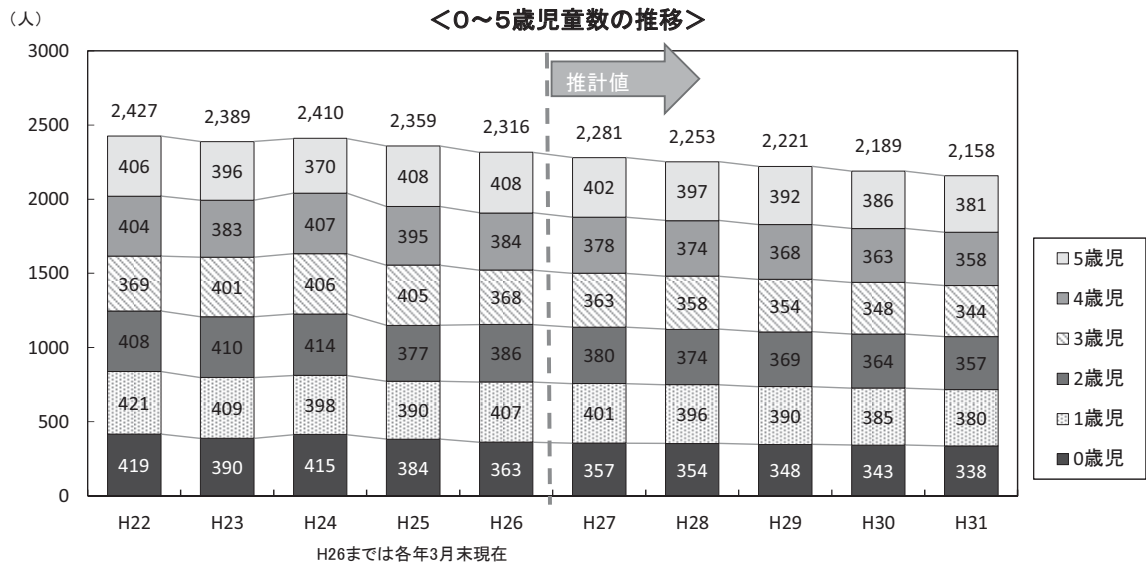
(出典) 国勢調査

※平成17年以前の調査では、核家族世帯に同居する非家族(住み込みの従業員、家事手伝いなど)がいる場合、核家族世帯に含めていましたが、平成22年の調査では、親族のみで構成される場合のみを核家族世帯としています。

(2) 子どもの状況と子育ての実態

○平成22年3月から平成26年3月までの0～5歳児の人口推移をみると、全体として減少しています。年齢別にみると、0歳、1歳、2歳、4歳で減少し、最も減少したのは0歳児（13%減）で、3歳児と5歳児では横ばいとなっています。

平成22年以降では、全体として減少傾向にあると推計されます。



(出典) 住民基本台帳

○市内には保育園が4園（公立1園、私立3園）あります。平成23年4月に青空保育園（定員120人）が開園し、定員が550人に増えましたが、平成24年3月の待機児童数は前年を上回る99人となっており、保育サービスについては、新たに保育園が設置されることにより、潜在ニーズが掘り起こされたといえます。

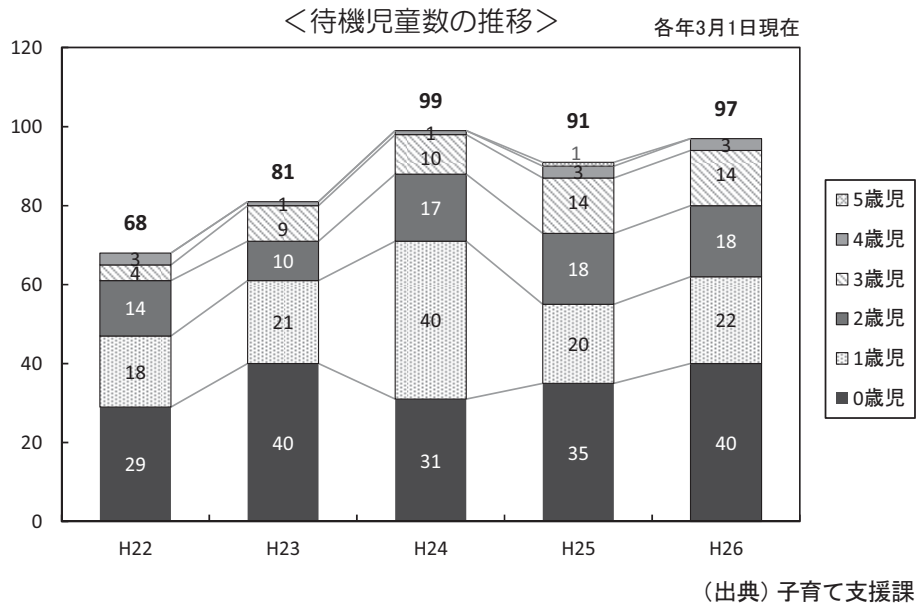
このように、過去5年間において0～5歳児童数は減少していますが、待機児童数は増加しており、特に0～2歳児において約1.3倍の伸び率となっています。

保育園の状況

(単位: か所、人)

	園数		定員数	園児数			
	私立	公立		総数	0歳	1～2歳	3～5歳
平成22年	2	1	430	418	25	124	269
平成23年	3	1	550	481	25	150	306
平成24年	3	1	550	540	29	176	335
平成25年	3	1	550	570	33	172	365
平成26年	3	1	550	584	40	173	371

(出典) 子育て支援課(毎年6月1日)



〇市内の幼稚園は6園（公立3園，私立3園）あります。近年，園児数は530～540人前後で推移しており，平成26年5月1日現在の園児数は，市外在住を含め527人となっています。

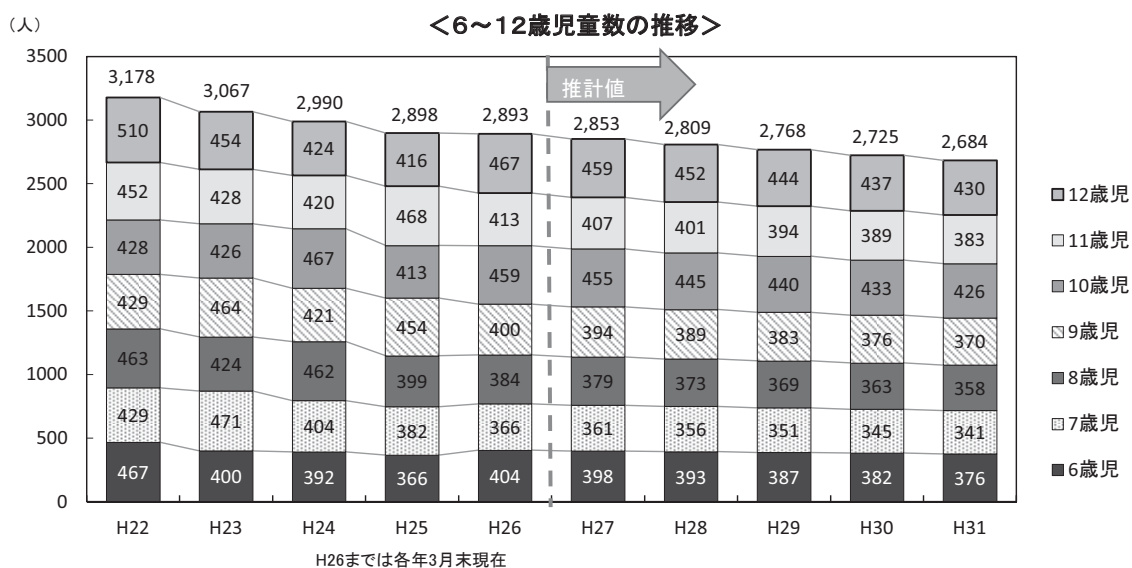
幼稚園の状況

(単位: か所、クラス、人)

	園数		学級数	園児数			
	私立	公立		総数	3歳	4歳	5歳
平成22年	3	3	20	551	100	224	227
平成23年	3	3	21	543	99	220	224
平成24年	3	3	20	535	105	205	225
平成25年	3	3	20	530	98	223	209
平成26年	3	3	20	527	91	204	232

(出典) 学校教育基本調査 (各年5月1日)

○平成22年3月から平成26年3月までの6～12歳児の人口推移をみると、全体として減少しています。同期間の0～5歳児の人口も減少していることから、今後も減少傾向は続いていくと推計されます。



(出典) 住民基本台帳

○市内に小学校は8校あり、全104学級、児童数2,401人です。中学校は3校あり、全45学級、生徒数1,247人となっています。

小学校・中学校の状況

(単位: 校、人、学級)

	小学校			中学校		
	学校数	学級数	児童数	学校数	学級数	生徒数
平成22年	8	110	2,630(26)	3	48	1,332(26)
平成23年	8	108	2,572(40)	3	46	1,335(22)
平成24年	8	110	2,529(51)	3	46	1,305(23)
平成25年	8	108	2,458(57)	3	43	1,230(25)
平成26年	8	104	2,401(62)	3	45	1,247(33)

(出典) 学校教育基本調査(各年5月1日)

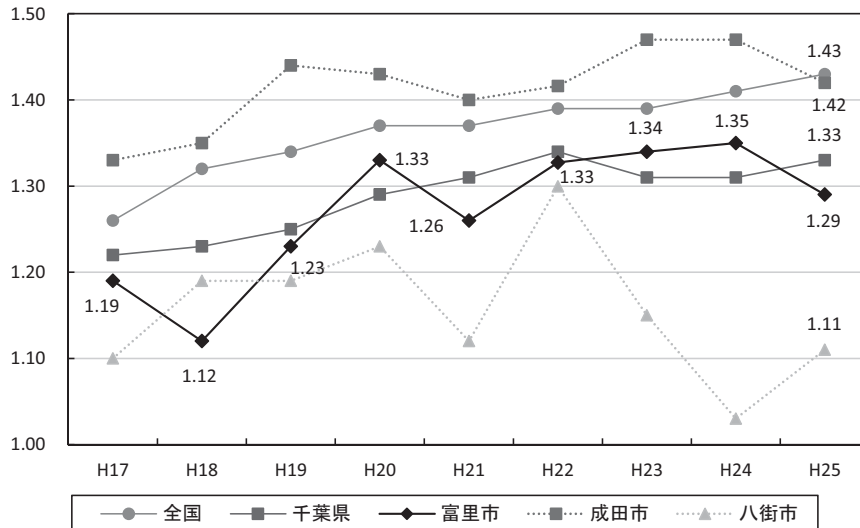
※児童数の()は、特別支援学級の児童数の内数

(3) 母子保健関連

○一人の女性が生涯に生む子どもの数を示す「合計特殊出生率」について、富里市は平成19年から上昇傾向が見られ、1.30前後を推移しています。

○平成25年の数値では、全国（1.43）、千葉県（1.33）を下回っています。

<合計特殊出生率の推移>

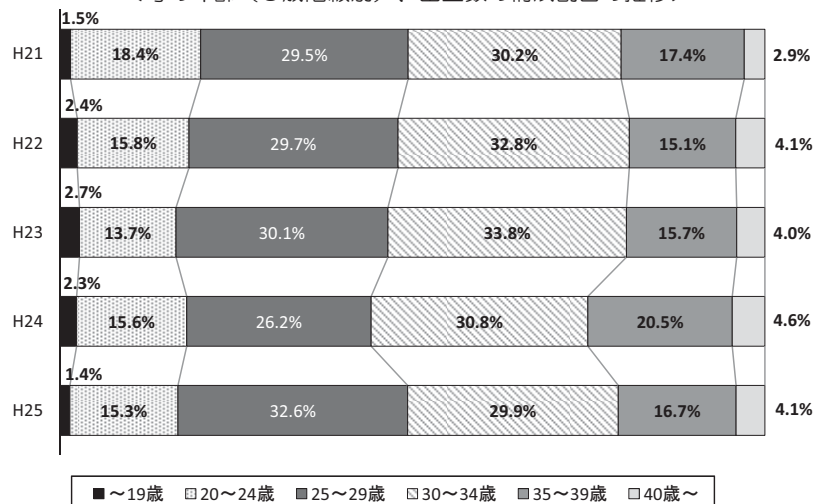


	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25
全 国	1.26	1.32	1.34	1.37	1.37	1.39	1.39	1.41	1.43
千 葉 県	1.22	1.23	1.25	1.29	1.31	1.34	1.31	1.31	1.33
富 里 市	1.19	1.12	1.23	1.33	1.26	1.33	1.34	1.35	1.29
成 田 市	1.33	1.35	1.44	1.43	1.40	1.42	1.47	1.47	1.42
八 街 市	1.10	1.19	1.19	1.23	1.12	1.30	1.15	1.03	1.11

(出典) 千葉県厚生統計調査

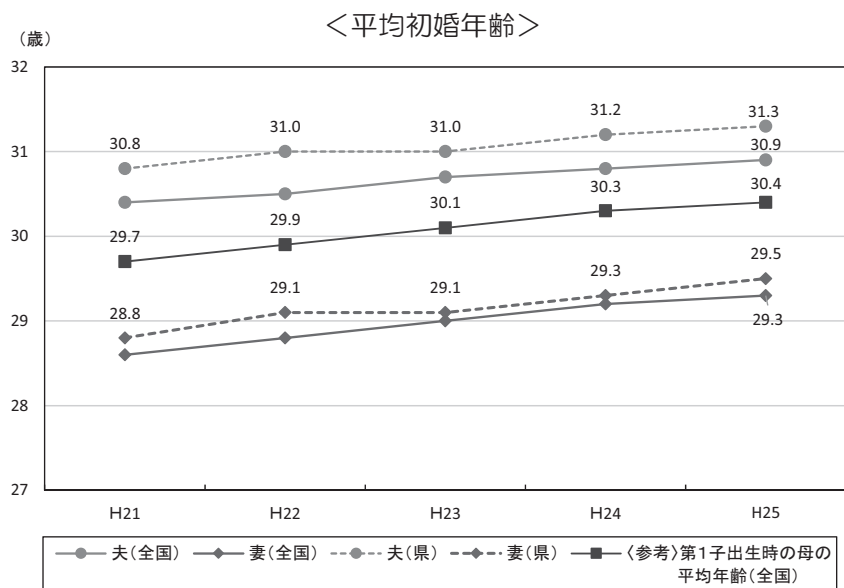
○出生時の母親の年齢を5歳階級別にみると、平成25年は、25～29歳（32.6%）30～34歳（29.9%）、35～39歳（16.7%）の順に多くなっています。また、20～24歳が15.3%と、県全体（8.0%）と比較して高い数値を示しています。

<母の年齢（5歳階級別）、出生数の構成割合の推移>



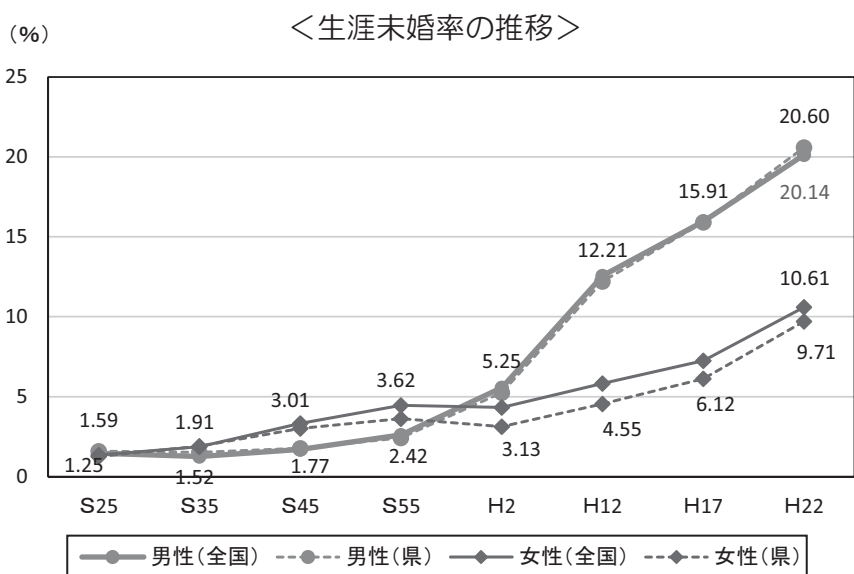
(出典) 千葉県衛生統計年報

○平均初婚年齢及び第1子出生時の母親の平均年齢について全国と千葉県を比較すると、全国、千葉県ともに初婚年齢が高くなる傾向にあり、千葉県は、夫（31.3歳）、妻（29.5歳）と全国平均を上回っております。



(出典) 厚生労働省「人口動態統計」

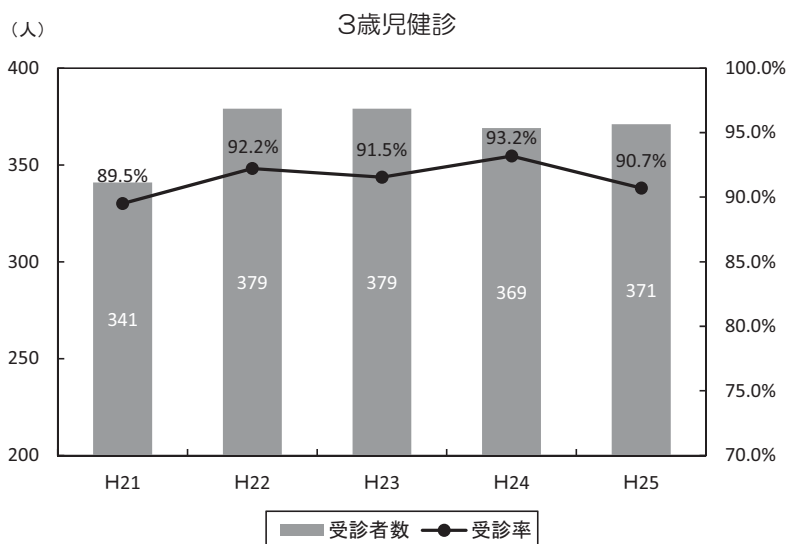
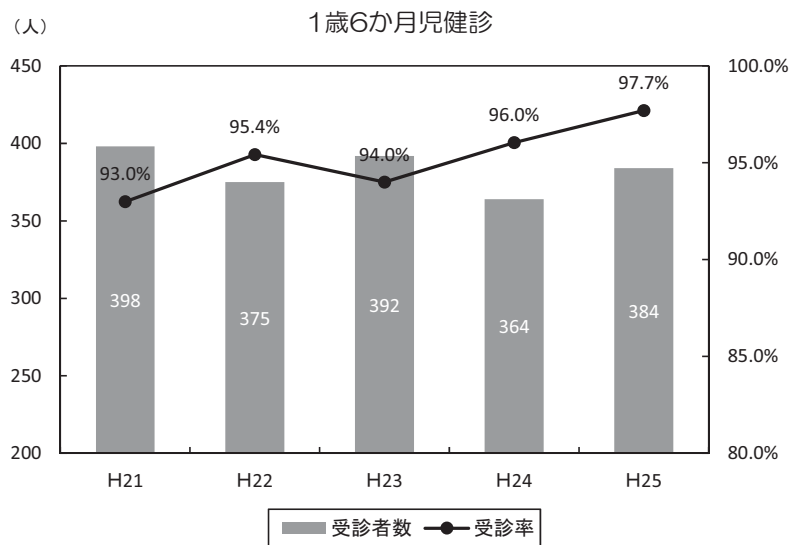
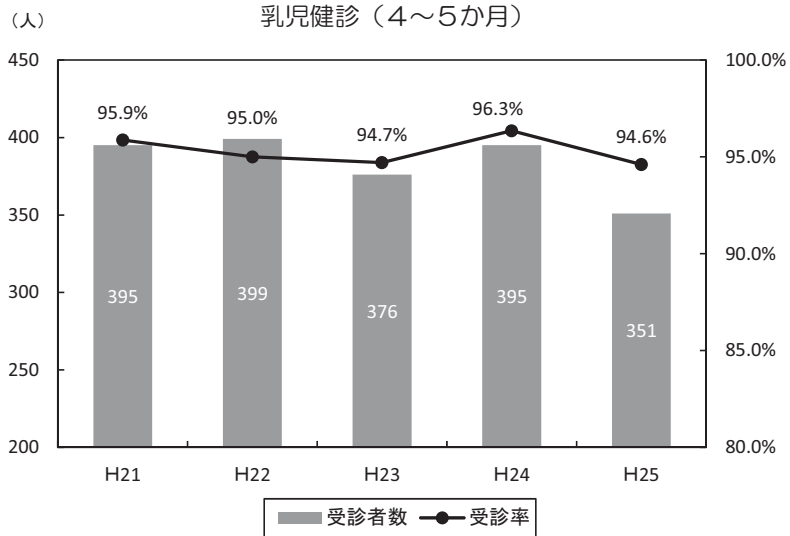
○一方、生涯未婚率について、昭和25年から平成22年まで長期的な推移を全国と千葉県を比較すると、男性女性ともに年々上昇傾向にあります。特に、男性の生涯未婚率は平成2年に女性を上回り、かつ急激に増加していることがうかがえます。なお千葉県は、男性の生涯未婚率が20.60%、女性の生涯未婚率が9.71%となっています。



(出典) 国立社会保障・人口問題研究所「人口統計資料集」

※生涯未婚率とは、45～49歳と50～54歳の未婚率の平均値であり、50歳時の未婚率

○乳児健診等の実施状況を見ると、「乳児健診（4～5か月）」と「1歳6か月児健診」は95%前後の受診率、「3歳児健診」は90%前後の受診率で推移しています。

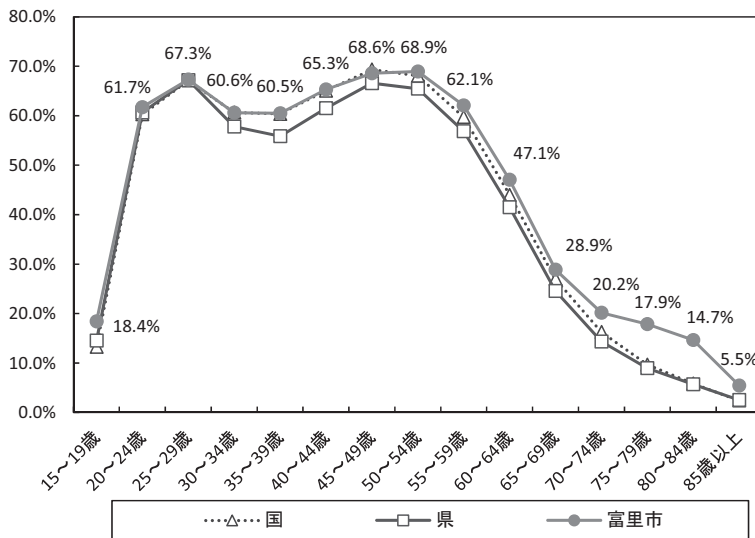


(4) 女性の年齢別就業

○女性の年齢別就業率を比較すると、すべての年齢階層において、県を上回る就業率となっています。また、全年齢総体の就業率を見ても、国、県を上回っています。

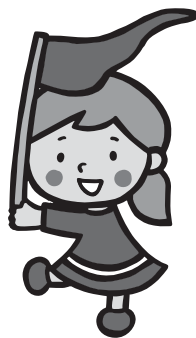
○富里市は県と比較すると、結婚・出産期に当たる年代に一旦低下し、育児が落ち着いた時期に再び上昇する、いわゆる「M字カーブ」の谷の部分の部分が浅くなっており、この年代の就業率が高くなっています。

＜女性の年齢別就業率＞



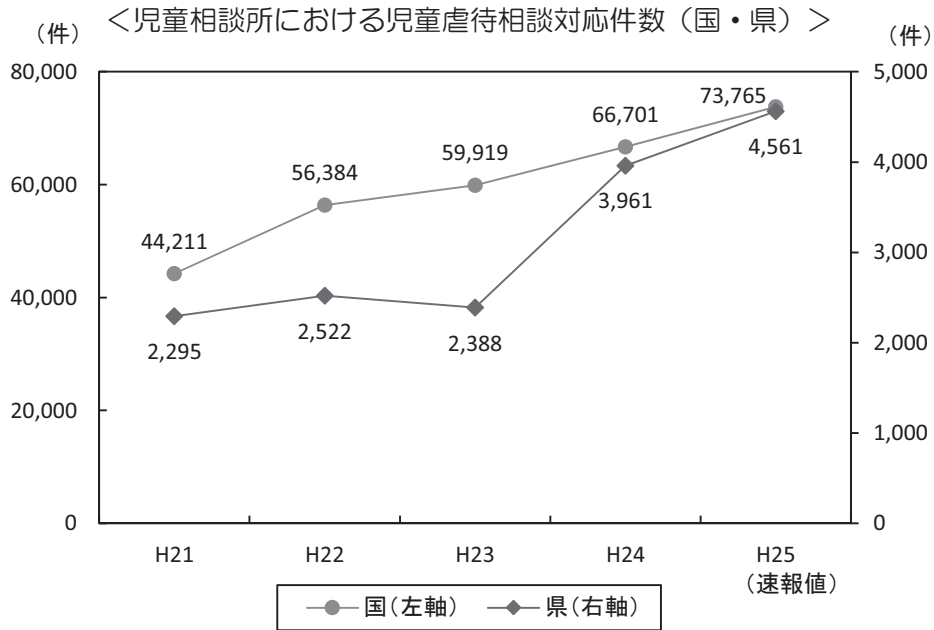
(出典) 平成 22 年国勢調査

	国	県	富里市
15～19歳	13.3%	14.6%	18.4%
20～24歳	60.3%	60.7%	61.7%
25～29歳	67.1%	67.2%	67.3%
30～34歳	60.6%	57.8%	60.6%
35～39歳	60.4%	55.8%	60.5%
40～44歳	65.1%	61.5%	65.3%
45～49歳	69.3%	66.6%	68.6%
50～54歳	68.1%	65.4%	68.9%
55～59歳	59.7%	56.9%	62.1%
60～64歳	44.0%	41.5%	47.1%
65～69歳	27.0%	24.5%	28.9%
70～74歳	16.3%	14.4%	20.2%
75～79歳	9.7%	9.0%	17.9%
80～84歳	5.8%	5.7%	14.7%
85歳以上	2.4%	2.5%	5.5%
総体	44.7%	44.1%	50.0%



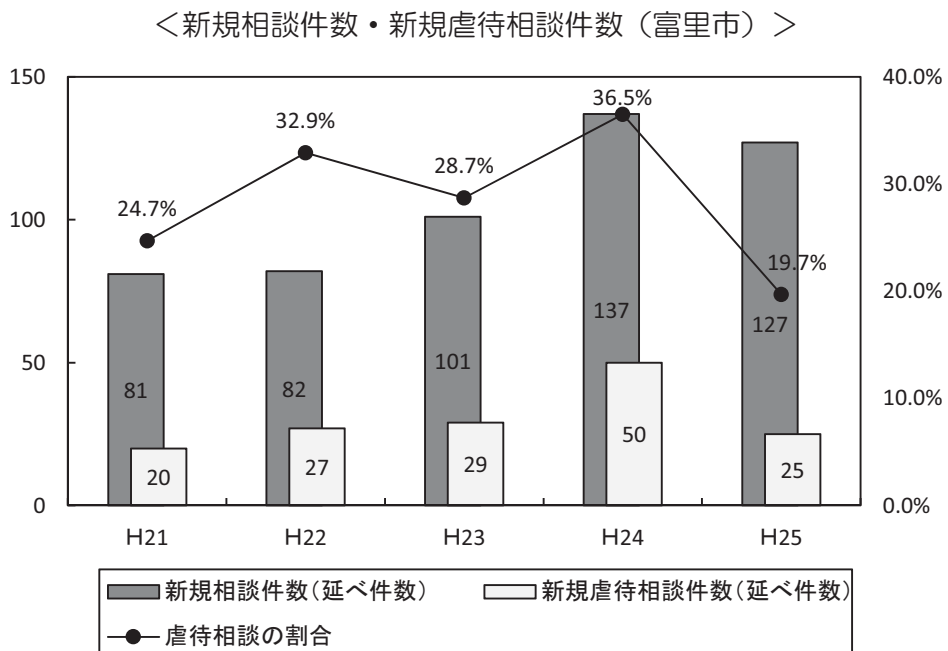
(5) 児童虐待

○児童相談所における児童虐待相談対応件数の推移についてみると、国、県ともに増加傾向にあります。



(出典) 厚生労働省 HP

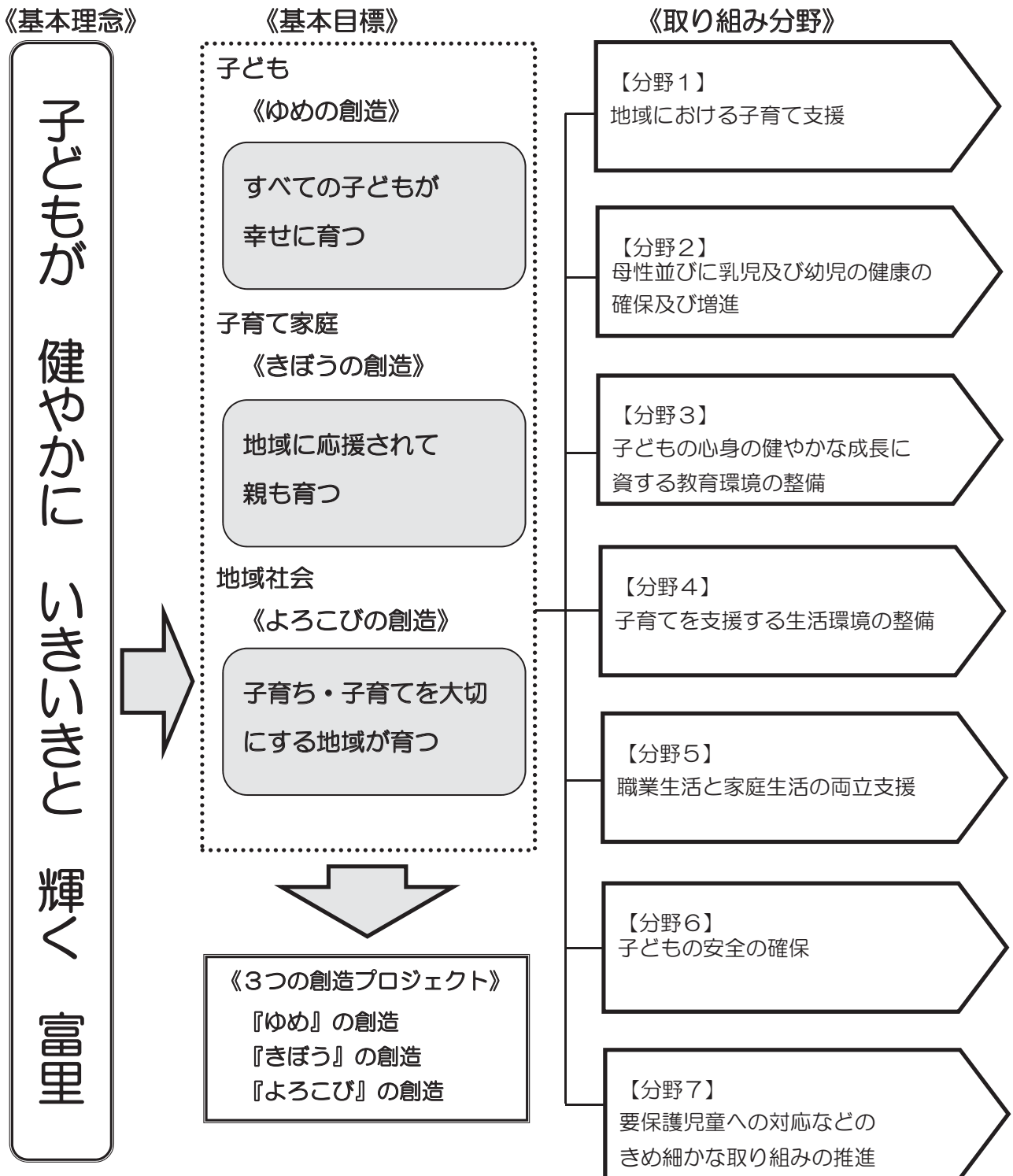
○富里市の新規虐待相談件数(延べ件数)は年度によってばらつきがありますが、平成25年は25件で、新規相談件数における虐待相談件数の割合は、19.7%と前年に比べて低下しています。



(出典) 子育て支援課

② これまでの子育て支援施策の分析・評価

現行の「次世代育成支援行動計画」は、基本目標に基づき7つの取り組み分野で構成し、基本目標より具体化する3つの創造プロジェクトを掲げました。



■「富里市次世代育成支援行動計画」主要課題ごとの取組みの進捗状況と新制度の施行に向けた課題

分野1 地域における子育て支援

1. 地域における子育て支援サービスの充実	
	内 容
取 組 概 要	子育て支援センター事業
進 捗 状 況 (H25 年度)	<ul style="list-style-type: none"> 子育て支援センター年間利用者数 延べ 9,473 人
現 状 と 課 題	<ul style="list-style-type: none"> 地域子育て支援拠点においては、子育て家庭に身近な立場から、個々の事情に応じた利用者支援の機能を果たすことが期待される。 地域子育て支援拠点を実施する関係機関が連携を図り、地域のニーズに合った子育て支援サービスを拡充させていく必要がある。

2. 保育サービスの充実	
	内 容
取 組 概 要	保育園整備の推進、一時保育事業、低年齢児保育の充実、延長保育事業、障がい児保育の充実、病児・病後児保育事業、放課後児童健全育成事業
進 捗 状 況 (H25 年度)	<ul style="list-style-type: none"> 一時保育年間利用者数 延べ 2,144 人 低年齢児入所児童数 0～2 歳 220 人（認可定員数 185 人） 学童クラブの新設 2 施設
現 状 と 課 題	<ul style="list-style-type: none"> 待機児童の解消に向け、保育園の整備を進めているが需要の増加が著しいことから、その対策が最重要課題である。 多様な保育サービスは、新制度においても重要な施策であり、その推進を図っていく必要がある。 就労形態や家族構成の変化に対応した各種サービスの充実が必要である。 学童クラブ利用のニーズが高まっている中、学童クラブの整備は重要な施策であり、その推進が求められている。 新制度においても、個別の需要の把握に努め、着実な取組みが求められる。

3. 子育てネットワークづくり	
	内 容
取 組 概 要	子育て支援センター，ボランティアセンター，母親学級，子育て交流会 ブックスタート事業，ファミリー・サポート・センター事業
進 捗 状 況 (H25 年度)	<ul style="list-style-type: none"> ・子育て支援センター育児相談 138 人 ・母親学級（年4コース 1コース4回）実参加人数 51 人 延べ 176 人 ・子育て交流会 79 回 参加者 1,701 人 ・ブックスタート実施者数 350 人 ・ブックスタートフォローアップ事業参加者延べ人数 742 人 ・ファミリー・サポート・センター 会員数 139 人 活動件数 292 件
現 状 と 課 題	<ul style="list-style-type: none"> ・就労形態や家族構成の変化に対応した各種サービスの充実が必要である。 ・子育てにかかる様々な不安を解消し，安心して子育てができるよう各種相談の充実を図る必要がある。 ・地域子育て支援拠点においては，子育て家庭に身近な立場から，個々の事情に応じた利用者支援の機能を果たすことが期待される。 ・地域子育て支援拠点を実施する関係機関が連携を図り，地域のニーズに合った子育て支援サービスを拡充させていく必要がある。

4. 児童の健全育成	
	内 容
取 組 概 要	民間児童館事業への支援，地域に根差した青少年活動，子どもの交流活動 外国語推進事業
進 捗 状 況 (H25 年度)	<ul style="list-style-type: none"> ・児童館利用人数 月平均 67 人 ・親子へらぶな釣り大会 101 人 ・少年少女綱引き・ドッジボール大会 275 人 ・中学生・高校生のジュニアリーダースクラブにより各種イベントが実施された。 ・「とみさとザ・ワールド・キッズ」の開催
現 状 と 課 題	<ul style="list-style-type: none"> ・個々の事情に応じた利用者支援の機能を果たすことが期待される。 ・地域のニーズに合った子育て支援サービスを充実させていく必要がある。 ・市全体の事業として親子で楽しめる行事を活性化する必要がある。 ・ジュニアリーダーを育成する講習会への参加者数が減少している。 ・外国語推進事業の運営委員や講師の確保が課題である。 ・「放課後子ども総合プラン」に基づき，共働き家庭等の児童を含めたすべての児童が，放課後等を安全・安心に過ごし，地域住民等の参画を得て，多様な体験・活動を行うことができるよう，学童クラブとの連携を図り，一体的な事業実施を推進する必要がある。

分野2 母性並びに乳児及び幼児の健康の確保及び増進

1. 子どもや母親の健康の確保	
	内 容
取 組 概 要	育児相談，母親学級，妊婦一般健康診査，乳幼児健診，歯科健診 乳児家庭全戸訪問事業（こんにちは赤ちゃん事業），養育支援訪問事業
進 捗 状 況 (H25 年度)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 育児相談利用者 延べ 230 人 ・ ベビーマッサージ 延べ 264 人 ・ かみかみ歯っぴー教室 238 組 ・ もぐもぐごっくん離乳食教室 75 組 ・ 母子手帳交付数 405 件 ・ 乳児健診（4～5 か月）受診者 351 人 受診率 94.6% ・ 1 歳 6 か月健診 受診者 384 人 受診率 97.7% ・ 2 歳児歯科健診 受診者 241 人 受診率 61.6% ・ 3 歳児健診 受診者 371 人 受診率 90.7% ・ 乳児家庭全戸訪問事業 訪問数 352 件 ・ 養育支援訪問事業 訪問数 996 件
現 状 と 課 題	<ul style="list-style-type: none"> ・ 健康診査の受診率は，年々向上している。 ・ むし歯や受動喫煙について社会全体の関心が高まっており，子どもや母親への影響も改善されている。 ・ 各種母子保健事業を推進し，健康の増進を図ることが求められる。 ・ 妊婦健診は新制度でその推進が求められており，適切な受診時期や健診内容の周知をするなどの更なる充実を図っていく必要がある。また，乳児家庭全戸訪問事業並びに養育支援訪問事業についても新制度の対象事業であり，子育てに関する情報提供や養育環境等の把握により，適切な養育の実施を確保することが求められている。

2. 食育の推進	
	内 容
取 組 概 要	小児生活習慣病予防，生活改善指導，「食」への関心の高揚
進 捗 状 況 (H25 年度)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 乳児健診（4～5 か月）（個別栄養指導） 351 人 ・ 1 歳 6 か月児健診（集団栄養指導） 384 人 ・ 3 歳児健診（集団栄養指導） 371 人 ・ 2 歳児歯科健診（個別栄養指導） 241 人 ・ 育児相談（保健センター，北部コミュニティセンター 延べ 170 人） ・ 夏休み親子クッキング 4 回（78 人） ・ 家庭教育学級 3 回（50 人） ・ もぐもぐごっくん離乳食教室 6 回（152 人）

現 状 と 課 題	<ul style="list-style-type: none"> ・25 年度よりむし歯のあった子どもについて新たに個別栄養相談を実施した。 ・おやつやジュースの与え方や時間・頻度等についての指導強化が必要である。 ・アレルギーに対する関心が高まっていることを踏まえた事業展開が必要である。
-----------	--

3. 思春期保健対策の充実	
	内 容
取 組 概 要	性教育及び薬物乱用防止教育
進 捗 状 況 (H25 年度)	<ul style="list-style-type: none"> ・合同家庭教育学級（小・中学校） 1 回（30 人） ・小・中学校における健康教育 2 回 143 人
現 状 と 課 題	<ul style="list-style-type: none"> ・市の思春期保健の現状と課題を学校と共有しながら、健康教育の内容、頻度、方法について協議が必要である。 ・学校単位で思春期保健に関する健康教育が定期的に行えるよう支援していく。

4. 小児医療の充実	
	内 容
取 組 概 要	アレルギー疾患対策、かかりつけ医の普及、地域医療体制の整備 予防接種、小児救急医療体制の確保
進 捗 状 況 (H25 年度)	<ul style="list-style-type: none"> ・乳幼児健診や育児相談等において、アレルギーについての相談を実施するとともに、専門相談機関の周知、かかりつけ医の啓発を行った。 ・25 年度からヒブワクチン、小児肺炎球菌、子宮頸がんワクチンの定期接種を実施した。26 年度からは水痘ワクチンが定期接種となった。
現 状 と 課 題	<ul style="list-style-type: none"> ・乳幼児健診や育児相談において、アレルギー相談が増加していることから、必要に応じて専門機関の周知を進めていく必要がある。 ・法改正に合わせた、予防接種の周知と勧奨が求められている。 ・小児医療体制については、保護者の安心につながるようなかかりつけ医の普及と救急医療体制の周知が必要である。

分野3 子どもの心身の健やかな成長に資する教育環境の整備

1. 次代の親の育成	
	内 容
取 組 概 要	子育て意識の広報・啓発, 家庭教育学級
進 捗 状 況 (H25 年度)	<ul style="list-style-type: none"> 子育てへの関心を高める行事やイベントについて, 広報紙やホームページで周知を行った。 子育てに関する各種助成制度や子どもたちに関連する施設の事業案内である「子育て応援ブック」を作成・配布した。 ホームページに電子版の「子育て応援ブック」を掲載した。 市立幼稚園, 小・中学校 14 か所で家庭教育学級を実施した。
現 状 と 課 題	<ul style="list-style-type: none"> 情報提供だけでなく, イベントや講演会などの学習機会の充実が必要である。 家庭教育学級への参加者拡大が課題である。

2. 子どもの生きる力の育成に向けた学校教育環境の整備	
	内 容
取 組 概 要	幼児教育研究会, 私立幼稚園預かり保育事業, 教育相談, 幼稚園就園奨励費補助金 教育費の助成(要保護・準要保護), 交流教育(障がい児教育), 福祉教育 スクールカウンセラー配置, 不登校対策
進 捗 状 況 (H25 年度)	<ul style="list-style-type: none"> 公立幼稚園預かり保育 延べ 3,253 人 教育相談 教育相談員 2 名配置 毎週日曜日・水曜日に実施 幼稚園就園奨励費補助金 371 人 適応指導教室指導者の増員
現 状 と 課 題	<ul style="list-style-type: none"> 子どもの教育に対する保護者のニーズが高まっており, 教育環境の整備・充実が求められている。 幼稚園や保育園と小学校との連携を深め, より充実させていく必要がある。 新制度においては任意記載事項として, 児童虐待防止の取り組みの推進が求められている。 児童虐待の未然防止及び早期発見のためには, 関係機関との連携強化をよりいっそう図っていく必要がある。 限られた財源を活用して, 引き続き子育て家庭への経済的支援を行っていく必要がある。 特別支援学級と通常学級, 特別支援学校等の連携(居住地校交流)が不十分であった。 道徳の時間を中心にした「心の教育」や体験活動において, 人権教育を推進する必要がある。 不登校の事例の増加や, 原因の複雑化に対応できる相談体制が求められている。

3. 家庭や地域の教育力の向上	
	内 容
取 組 概 要	「放課後子供教室」の実施，図書館事業
進 捗 状 況 (H25 年度)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 浩養小学校，洗心小学校，富里第一小学校，富里小学校，富里南小学校，日吉台小学校で放課後子供教室を実施した。 放課後子供教室実施校 6校 ・ 富里第一学童クラブと浩養すいかキッズクラブで，放課後子供教室と連携した活動を実施した。 ・ 図書館での各種おはなし会の実施 64回
現 状 と 課 題	<ul style="list-style-type: none"> ・ 放課後子供教室に協力を得られる地域住民の確保が難しく，一部の学校で放課後子供教室が実施できない状況である。

4. 子どもを取り巻く有害環境対策の推進	
	内 容
取 組 概 要	情報モラル教育・啓発
進 捗 状 況 (H25 年度)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 情報モラル教育プランに基づく「親子ケータイ出前授業」の実施
現 状 と 課 題	<ul style="list-style-type: none"> ・ インターネット上のいじめや有害情報を監視する「ネットパトロール」体制が整っていない。



分野4 子育てを支援する生活環境の整備

1. 良質な住環境・遊び場の確保	
	内 容
取 組 概 要	自然環境の保全・活用，遊び場の確保
進 捗 状 況 (H25 年度)	<ul style="list-style-type: none"> 公園の確保 111 か所 公園の点検・管理 年3回 公園の管理協定締結団体数 48 団体
現 状 と 課 題	<ul style="list-style-type: none"> 民間の住宅開発に合わせて公園箇所数は増加しており，今後も増加する見込みだが，開発により失われる緑地を確保することが課題である。 地域で公園を管理する「管理協定」を地元自治会と締結し，地区で管理する公園を増やすことが課題である。

2. 安全な道路交通環境の整備	
	内 容
取 組 概 要	安全で快適な道路環境整備
進 捗 状 況 (H25 年度)	<ul style="list-style-type: none"> 交通安全施設工事 21 件 道路改良工事路線 13 路線
現 状 と 課 題	<ul style="list-style-type: none"> 通学路について，通学路安全推進会議に参加し，通学路緊急合同点検に基づき対策を講じた。 交通安全施設の老朽化が進んでおり適切な管理が必要である。 ゲリラ豪雨による冠水に対応する排水整備が必要である。

3. 安心・安全なまちづくりの推進	
	内 容
取 組 概 要	誰もが暮らしやすいまちづくり（バリアフリー化の推進），防犯灯整備
進 捗 状 況 (H25 年度)	<ul style="list-style-type: none"> バリアフリー化した公園 1 か所 バリアフリー対応保育園・学童クラブ 5 か所 耐震補強工事（富里南小学校校舎） 屋内運動場安全対策工事（日吉台小学校） 障がい児等対策施設整備工事（富里小学校，七栄小学校） 市有防犯灯設置数（LED） 242 灯設置
現 状 と 課 題	<ul style="list-style-type: none"> 平成24年度に「富里市都市公園に係る移動等円滑化のために必要な特定公園施設の設置に関する基準を定める条例」を策定した。 新設公園はバリアフリー化で設置されているが，既存公園のバリアフリー化が進んでいない。 保育園や学童クラブにおいては，バリアフリー化が1か所未対応（トイレのみ）となっている。 教育施設の耐震化や安全対策工事が完了していない。

分野5 職業生活と家庭生活の両立支援

1. 仕事と生活の調和の実現のための働き方の見直し	
	内 容
取 組 概 要	男女共同参画意識の高揚，育児休業制度の普及，職業環境の改善，再就職への支援
進 捗 状 況 (H25 年度)	<ul style="list-style-type: none"> ・男女共同参画講演会 参加者 78 人 ・啓発パンフレット等の配布
現 状 と 課 題	<ul style="list-style-type: none"> ・男女共に仕事や家事，子育てなどを充実して行えるよう，意識レベル向上の啓発が今後も必要である。 ・男性も女性も子育てに参画する社会を構築していく必要がある。 ・ワーク・ライフ・バランス実現のための啓発及び講座の開催と情報提供を行っていく必要がある。 ・企業や関係部署への働きかけの実績が数値化されない困難さがある。 ・育児休業等の啓発のための情報提供や講座を開催する必要がある。

2. 仕事と子育ての両立のための基盤整備	
	内 容
取 組 概 要	プレパパママ教室，授業参観
進 捗 状 況 (H25 年度)	<ul style="list-style-type: none"> ・プレパパママ教室 3回 参加者 39 人 ・土曜日に授業参観や地域公開事業を実施し，父親の子育て参加意識を高めるよう工夫。
現 状 と 課 題	<ul style="list-style-type: none"> ・男女ともに仕事や家事，子育て等を充実して行えるよう，意識の啓発が今後も必要である。 ・男性も女性も子育てに参画する社会を構築していく必要がある。

分野6 子どもの安全の確保

1. 子どもの交通安全を確保するための活動の推進	
	内 容
取 組 概 要	交通安全教育の推進，地域ぐるみの交通安全運動
進 捗 状 況 (H25 年度)	<ul style="list-style-type: none"> 交通安全教室の実施 小学校8校 保育園3園 街頭監視 56日 延べ252人
現 状 と 課 題	<ul style="list-style-type: none"> 交通事故の防止のために警察等関係機関と連携し，更なる交通安全教育の推進が必要である。

2. 子どもを犯罪等の被害から守るための活動の推進	
	内 容
取 組 概 要	学校情報等共有システムの活用，学校・地域における防犯体制の強化 「子ども110番の家」事業
進 捗 状 況 (H25 年度)	<ul style="list-style-type: none"> 小・中学校の保護者に不審者情報や学校情報を発信した。 地域住民による防犯パトロールが実施された。 子ども110番の家 登録者数 738件 青色回転灯装着車両によるパトロール 344回
現 状 と 課 題	<ul style="list-style-type: none"> 防災・防犯メールの登録者数が少なく，将来的に多様に活用していくことを踏まえると，登録者数の拡大が必要である。 学校における防犯教室や防犯訓練が必要である。 市では，防犯指導員をはじめ防犯団体とともにパトロールを実施しているが，今後，幅広い世代の防犯活動への参加が必要である。

3. 被害にあった子どもの保護の推進	
	内 容
取 組 概 要	児童虐待の防止対応，要保護児童対策地域協議会による連携，児童虐待の再発・連鎖の防止，被害にあった子どもの相談
進 捗 状 況 (H25 年度)	<ul style="list-style-type: none"> 犯罪やいじめ，児童虐待等により被害を受けた子どもの精神的なダメージを軽減し，立ち直りを支援するため，学校や関係専門機関と連携を図りながら，子どもに対するカウンセリングや保護者への助言を行った。 生徒指導会議等，学校訪問による情報収集や学校からのいじめや問題傾向のある児童生徒の相談を受け，スクールカウンセラー等，臨床心理士の立場からきめ細かいカウンセリングを実施し，保護者や学校に対して助言を行った。また，児童虐待については，学校，関係各課，児童相談所との連携協力を強化し，定期的にケース会議を実施しながら迅速な対応に努めた。
現 状 と 課 題	<ul style="list-style-type: none"> 今後さらに，児童虐待防止の取組みの推進が重要となる。 児童虐待の未然防止及び早期発見のためには，関係機関との連携強化をよりいっそう図っていく必要がある。

分野7 要保護児童への対応などのきめ細かな取組みの推進

1. 児童虐待防止対策の充実	
	内 容
取 組 概 要	児童虐待防止対策の充実を図るため、以下の支援を実施している。 要保護児童対策地域協議会による関係機関の連携、児童虐待の再発・連鎖の防止
進 捗 状 況 (H25 年度)	<ul style="list-style-type: none"> ・富里市要保護児童対策地域協議会実務者会議 年6回 個別支援会議 年1 1回 ・市・児童相談所・教育委員会でケース会議を毎月開催し、要保護児童の把握と情報交換を行い、関係機関が連携して児童虐待の早期発見に努め、適切な対応を図った。 ・リーフレットの配布 1,458 枚 ・児童相談所への支援要請 援助依頼回数 8回 ・児童相談所等への保護 4件
現 状 と 課 題	<ul style="list-style-type: none"> ・今後さらに、児童虐待防止の取組みの推進が重要となる。 ・児童虐待の未然防止及び早期発見のためには、関係機関との連携強化をよりいっそう図っていく必要がある。

2. きめ細かな支援が必要な取組み	
	内 容
取 組 概 要	きめ細かな支援が必要な取組みについて、以下の支援を実施している。 家庭児童相談室及び民生委員児童委員等の関係機関による相談・指導 母子・父子自立支援員を配置、児童手当、ひとり親家庭自立支援訓練給付金事業、児童扶養手当、ひとり親家庭等医療費助成、子ども医療費助成、子育て応援ブックの配布、簡易マザーズホーム、重度心身障がい療費助成、生活ガイドブックの配布、国際交流支援
進 捗 状 況 (H25 年度)	<ul style="list-style-type: none"> ・国・県等の制度に基づき、事業として継続的に実施している。 ・母子自立支援員 4名配置 ・ひとり親世帯に対して、各種資金貸付制度の周知を図り、経済的自立や安定した生活及び児童等の福祉向上を図った。 ・関係機関合同による、幼稚園3園・保育園4園の定期巡回指導 ・重度心身障がい療費助成 648人
現 状 と 課 題	<ul style="list-style-type: none"> ・限られた財源を活用して、引き続き子育て家庭への経済的支援を行っていく必要がある。 ・子育てにかかる様々な不安を解消し、安心して子育てができるよう各種相談の充実を図る必要がある。 ・ひとり親家庭は、社会全体では増加しているため、今後も母子・父子家庭への一層の支援が必要である。 ・ひとり親家庭への就労支援の充実等により、自立を促進していく必要がある。

現状と課題

- ・子ども・子育て支援新制度の内容を含めた子育て支援制度やサービスの情報をわかりやすくまとめた形での子育て情報誌の発行、関連施設や相談窓口等の情報提供を更に充実する必要がある。
- ・こども子育てコンシェルジュをはじめ、子育てに関する相談窓口が、新制度における多様な制度に関し、適切な情報を提供できる体制を整える必要がある。
- ・各関係機関との連携を強化し、幼稚園や保育園、学童クラブにおいて、障がい児の受け入れを進めていく必要がある。
- ・子ども・子育て支援新制度で「利用者支援事業」が「地域子ども・子育て支援事業」として位置付けられることから相談体制の充実を図る必要がある。



③ ニーズ調査

(1) 調査の目的

本計画の策定にあたり、市民の子育て支援に関する生活実態や要望・意見を把握することを目的に、以下のとおり3種類のニーズ調査（アンケート）を実施した。

<調査の設計>

	富里市子育て支援に関する ニーズ調査（就学前児童）	富里市子育て支援に関する ニーズ調査（小学生児童）
調査対象	富里市内に居住する 就学前児童を持つ保護者	富里市内に居住する 小学生児童を持つ保護者
標本数	1,978人	633人
抽出方法	住民基本台帳から就学前児童を持つ 全世帯を抽出	住民基本台帳から小学校1～3年生 の児童を持つ全世帯でかつ就学前児童 がいない世帯を抽出
回収数(率)	1,135人(57.4%)	258人(40.8%)
調査方法	郵送配布, 郵送回収	
調査期間	平成25年12月13日～12月27日	

	富里市子育て支援に関する ニーズ調査（市民）
調査対象	富里市内に居住する 25～35歳の男女
標本数	500人
抽出方法	住民基本台帳からの無作為抽出（た だし就学前児童調査及び小学生児童 調査の対象先を除く）
回収数(率)	99人(19.8%)
調査方法	郵送配布, 郵送回収
調査期間	平成25年12月13日～12月27日

※調査結果の数値は原則として回答率(%)を表記しており、小数点第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを表記している。このため、単数回答の合計が100.0%とならない場合(例:99.9%,100.1%)がある。また、一人の回答者が2つ以上の回答をしてもよい質問(複数回答)では、回答率が100.0%を上回ることがある。

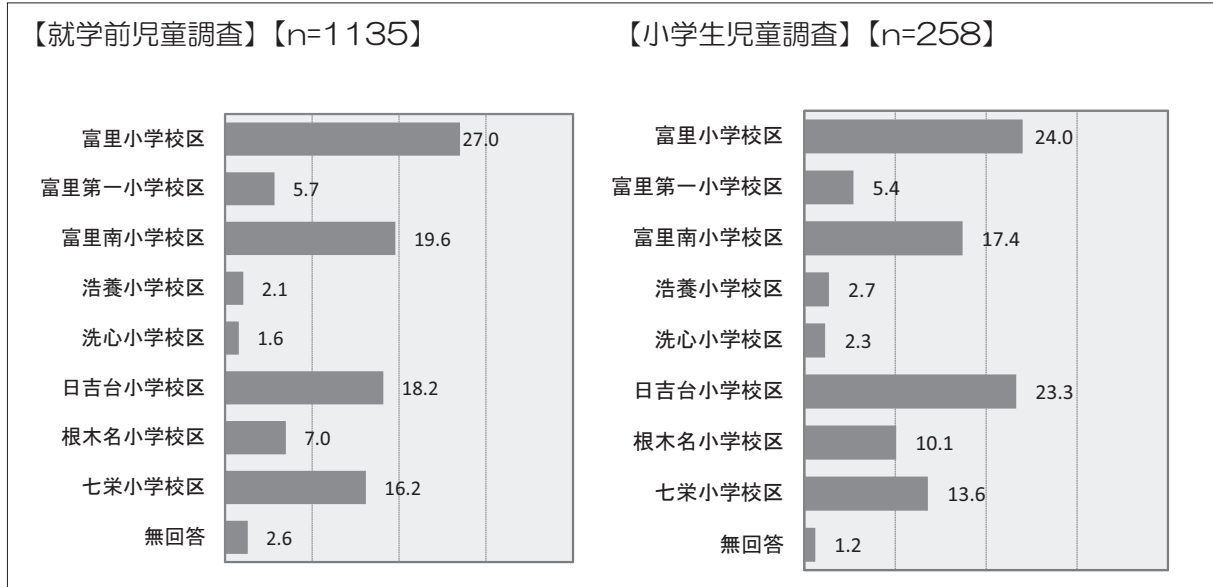
※本文やグラフ・数表上で次の略称を使用する。n:回答者の数 SA:単数回答 MA:複数回答

(2) 調査分析の結果

①回答者のプロフィール

〈居住地区〉(SA)

(単位：%)

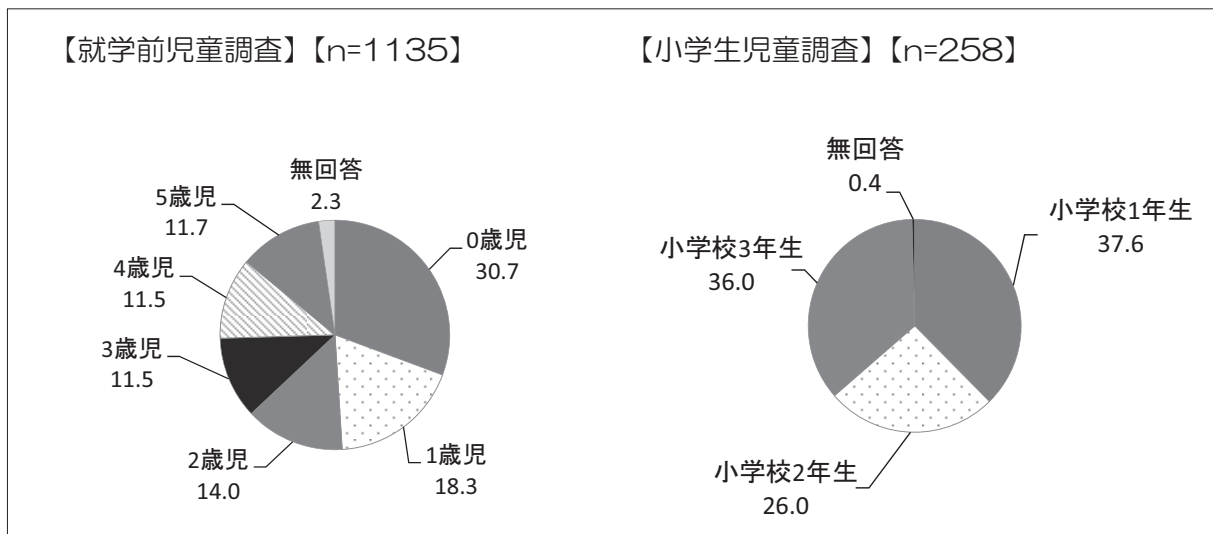


○就学前児童調査の居住地区は、「富里小学校区」が27.0%と最も高く、次いで「富里南小学校区」が19.6%、「日吉台小学校区」が18.2%などとなった。

○小学生児童調査の居住地区は、「富里小学校区」が24.0%と最も高く、次いで「日吉台小学校区」が23.3%、「富里南小学校区」が17.4%などとなった。

〈子どもの生年月日〉(SA)

(単位：%)

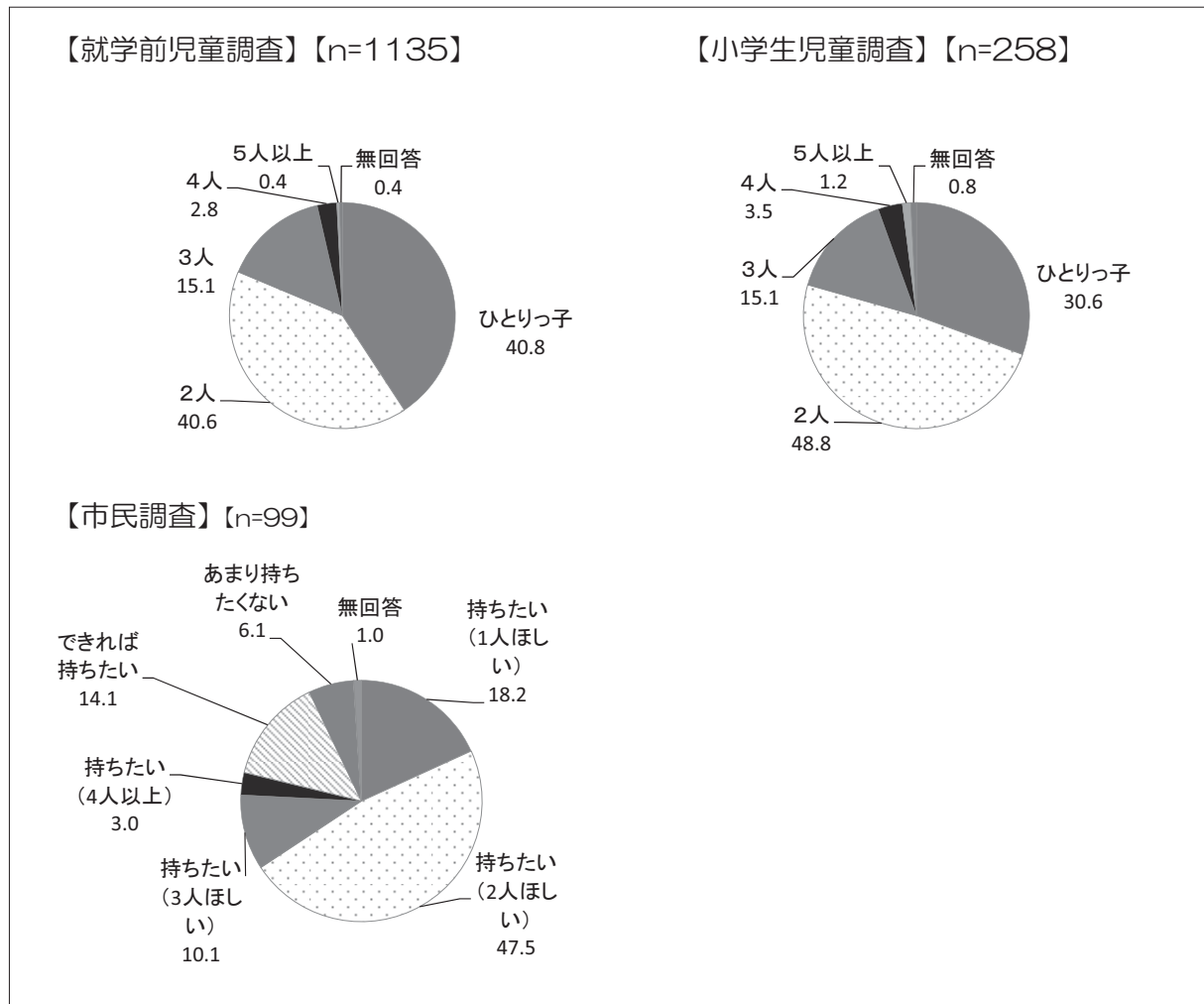


○就学前児童調査の子どもの生年月日は、「0歳児」が30.7%と最も高く、次いで「1歳児」が18.3%、「2歳児」が14.0%などとなった。

○小学生児童調査の子どもの学年は、「小学校1年生」が37.6%と最も高く、次いで「小学校3年生」が36.0%、「小学校2年生」が26.0%などとなった。

〈子どもの人数〉(SA)

(単位：%)



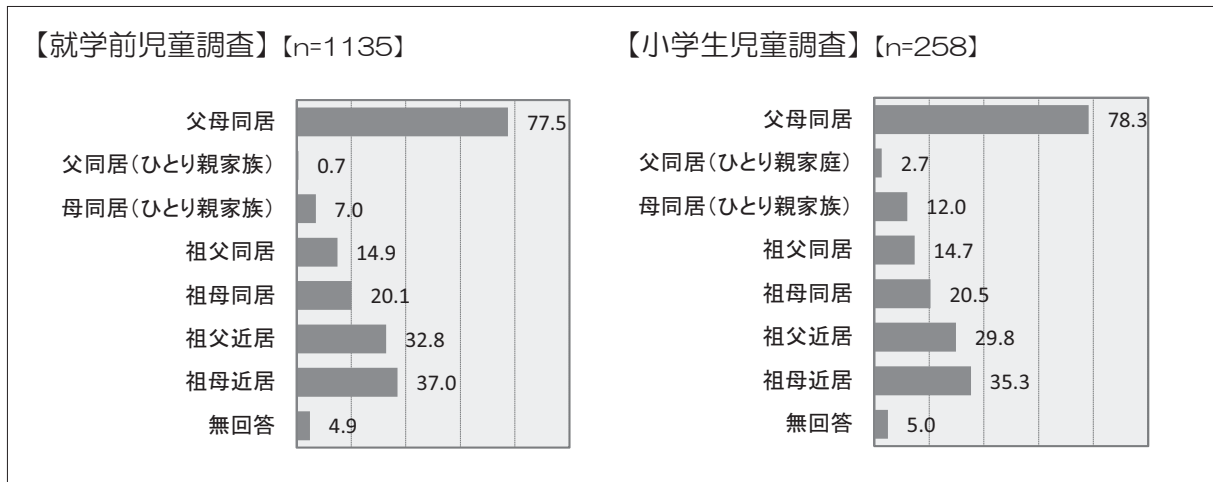
○就学前児童調査の子どもの人数は、「ひとりっ子」が40.8%と最も高く、次いで「2人」が40.6%などとなった。

○小学生児童調査の子どもの人数は、「2人」が48.8%と最も高く、次いで「ひとりっ子」が30.6%などとなった。

○市民調査の子どもを持ちたいと思うかをたずねたところ、「持ちたい (2人ほしい)」が47.5%と最も高く、次いで「持ちたい (1人ほしい)」が18.2%などとなった。「子どもを持ちたい (できれば持ちたいを含む)」と回答した方は92.9%と高い割合を占めた。

〈家族の同居・近居の状況〉(MA)

(単位：%)

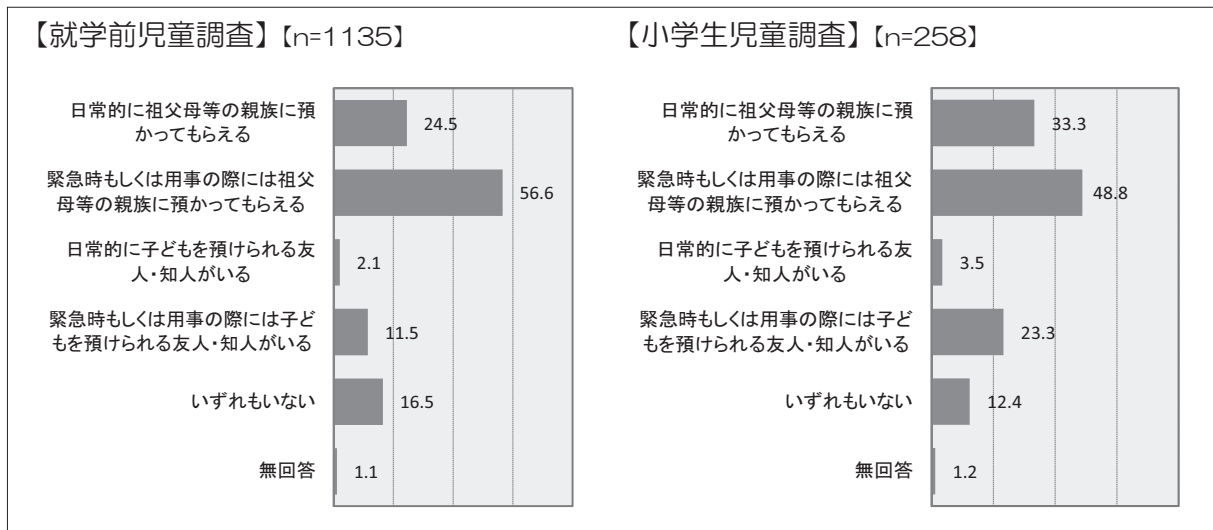


○就学前児童調査の家族の同居の状況は、「父母同居」(77.5%)が8割弱を占めた。祖父母については、「祖父同居」が14.9%、「祖母同居」が20.1%と2割前後となった。近居の状況は、「祖父近居」が32.8%、「祖母近居」が37.0%と4割弱を占めた。

○小学生児童調査の家族の同居の状況は、「父母同居」(78.3%)が8割弱を占めた。祖父母については、「祖父同居」が14.7%、「祖母同居」が20.5%と2割前後となった。近居の状況は、「祖父近居」が29.8%、「祖母近居」が35.3%となった。

〈日頃のサポートの状況〉(MA)

(単位：%)



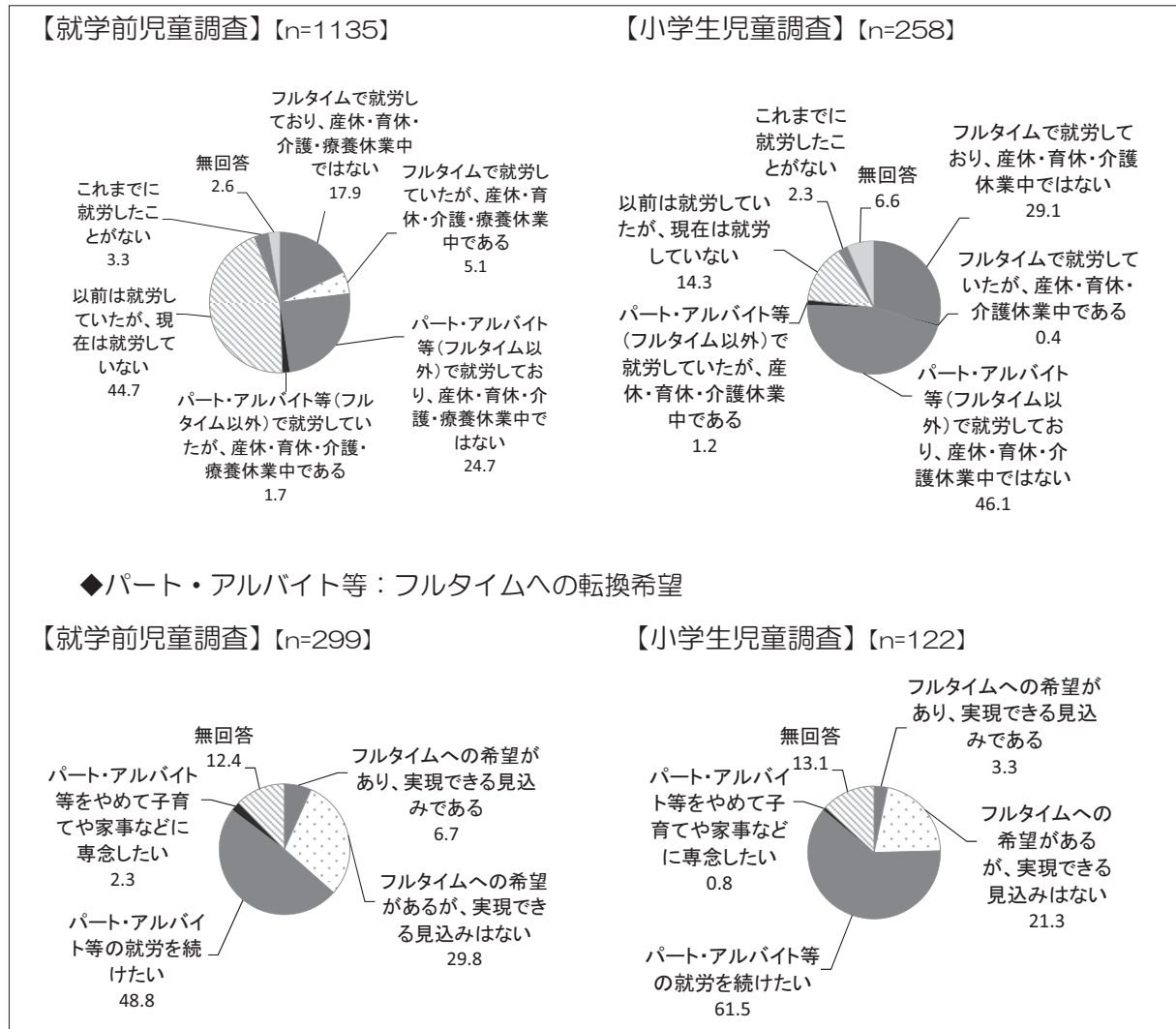
○就学前児童調査の日頃のサポートの状況は、「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族に預かってもらえる」が56.6%と最も高く、次いで「日常的に祖父母等の親族に預かってもらえる」が24.5%となった。日常的に「友人・知人に預かってもらえる家庭」は少数である。「いずれもない」は16.5%と2割弱を占めた。

○小学生児童調査の日頃のサポートの状況は、「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族に預かってもらえる」が48.8%と最も高く、次いで「日常的に祖父母等の親族に預かってもらえる」が33.3%となった。日常的に「友人・知人に預かってもらえる家庭」は少数である。「いずれもない」は12.4%と1割強を占めた。

②親の就労状況

〈母親の就労状況〉(SA)

(単位：%)



○就学前児童調査の母親の就労状況は、「以前は就労していたが、現在は就労していない」が44.7%と最も高く、次いで「就労している(パート・アルバイト等)」が24.7%、「就労している(フルタイム)」が17.9%などとなった。

○小学生児童調査の母親の就労状況は、「就労している(パート・アルバイト等)」が46.1%と最も高く、次いで「就労している(フルタイム)」が29.1%、「以前は就労していたが、現在は就労していない」が14.3%などとなった。

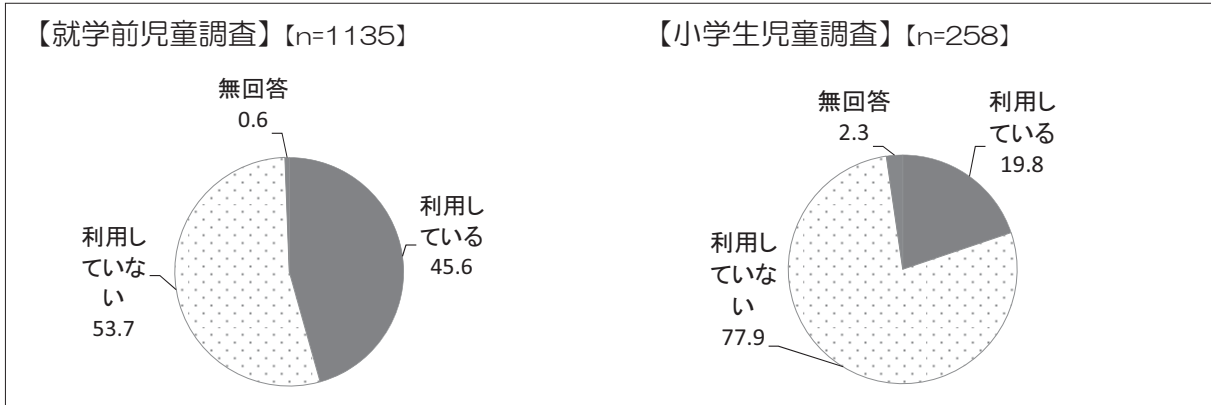
○就学前児童調査のパート・アルバイト等で働く母親のフルタイムへの転換希望は、「希望はない(パート・アルバイト等の就労を続けたい)」が48.8%と最も高く、次いで「希望があるが、実現できる見込みはない」が29.8%となった。「希望があり、実現できる見込みである」は6.7%にとどまった。

○小学生児童調査のパート・アルバイト等で働く母親のフルタイムへの転換希望は、「希望はない(パート・アルバイト等の就労を続けたい)」が61.5%と最も高く、次いで「希望があるが、実現できる見込みはない」が21.3%となった。「希望があり、実現できる見込みである」は3.3%にとどまった。

③教育・保育事業

〈利用状況（小学生は学童保育の利用状況）〉（SA）

（単位：％）

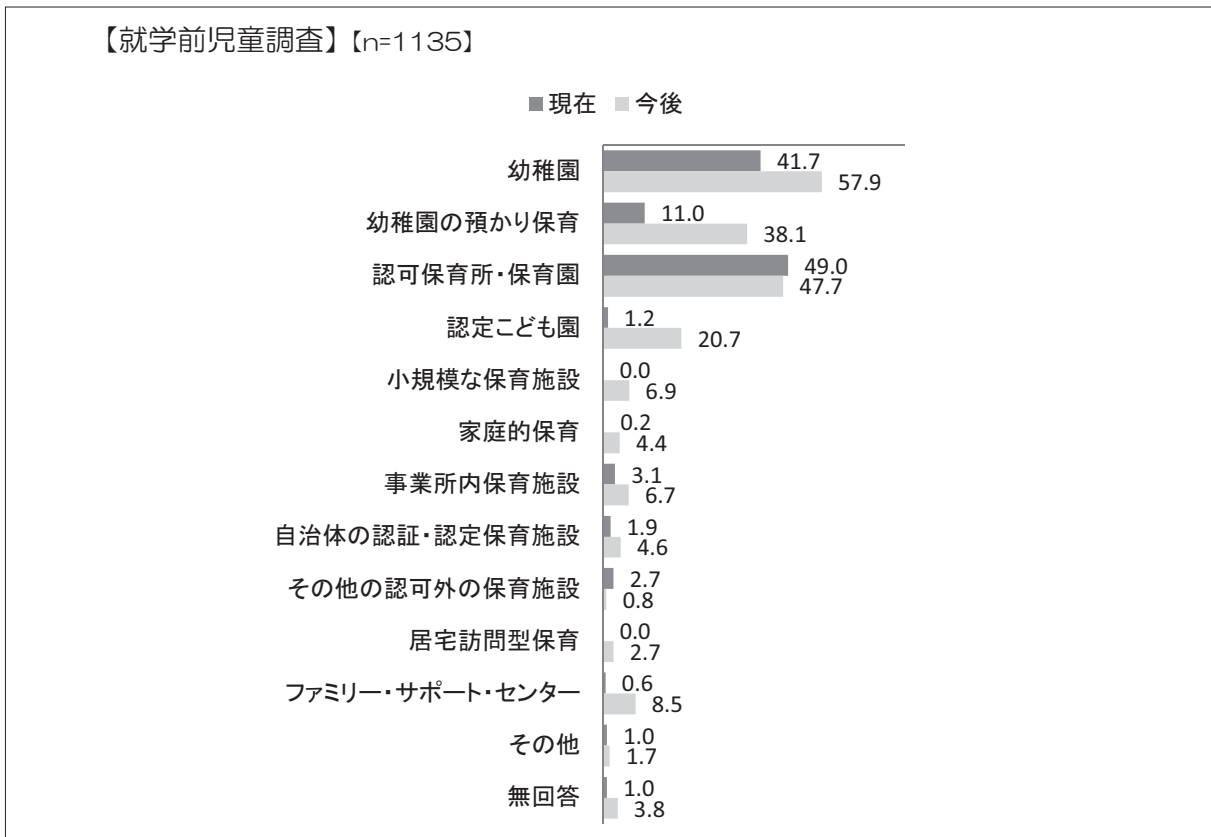


○就学前児童調査の教育・保育事業の利用状況は、「利用している」が45.6%、「利用していない」が53.7%と、半数を上回った。

○小学生児童調査の学童クラブの利用状況をみると、「利用している」は19.8%、「利用していない」は77.9%となった。

〈利用したい教育・保育事業（就学前児童のみ）〉（MA）

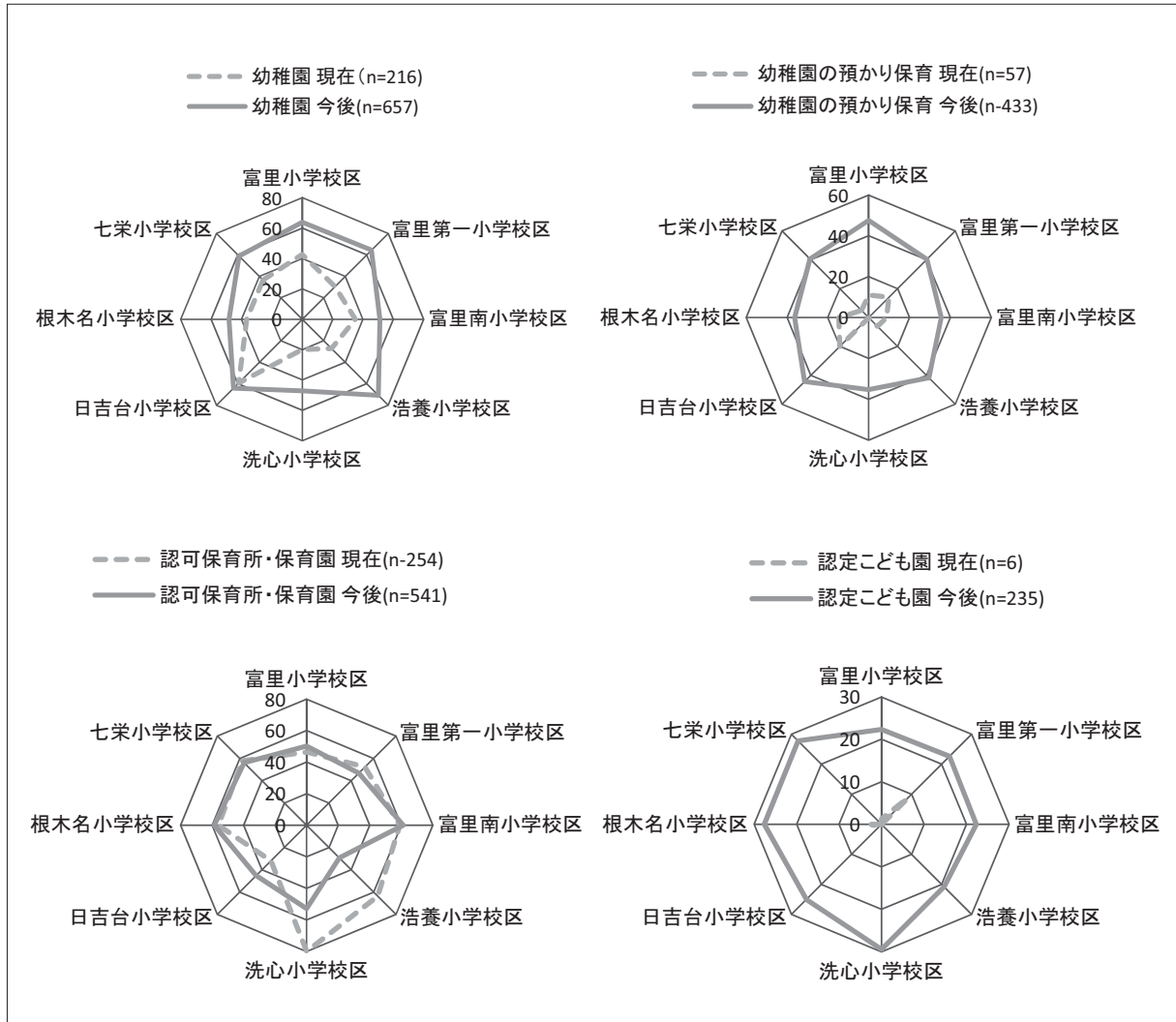
（単位：％）



○現在、教育・保育事業を利用している保護者において、利用している教育・保育事業は、「認可保育園・保育園」が49.0%と最も高く、次いで「幼稚園（通常の就園時間）」が41.7%、「幼稚園の預かり保育」が11.0%などとなった。

【就学前児童調査】

「現在利用している教育・保育事業」と「今後利用したい教育・保育事業」【小学校区別】 (単位：%)

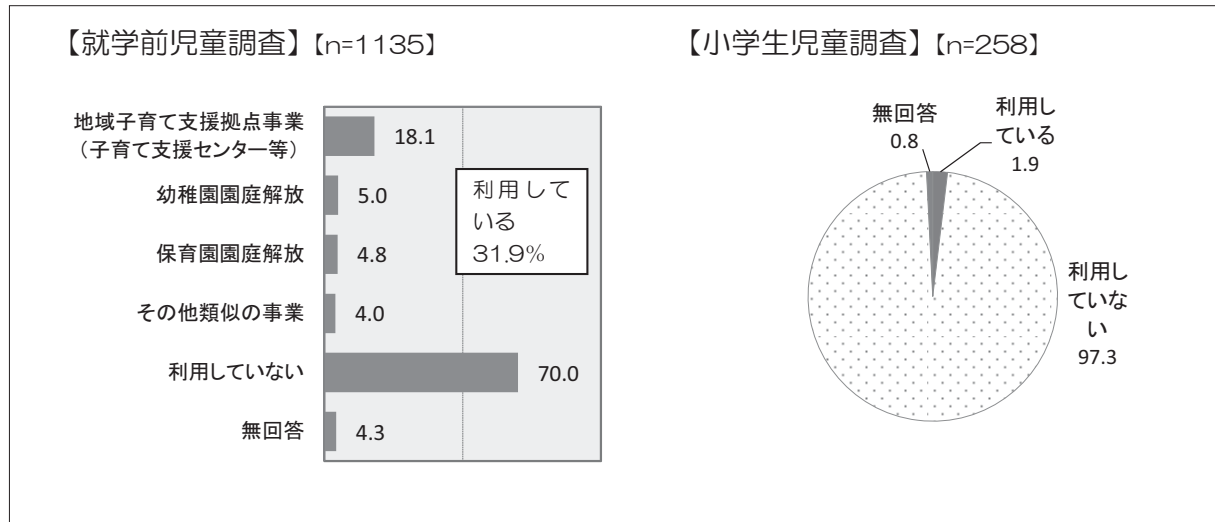


○ 「現在利用している教育・保育事業」と「今後利用したい教育・保育事業」を選択した保護者において、小学校区別にみると、幼稚園では、「日吉台小学校区」以外で現在よりもニーズが高くなった。また、幼稚園の預かり保育では、すべての小学校区で現在よりもニーズが高くなった。認可保育園・保育園では、「洗心小学校区」と「浩養小学校区」で現在よりもニーズが低くなっている。

④地域子育て支援拠点事業（就学前児童はMA，小学生児童はSA）

〈利用状況〉

（単位：％）

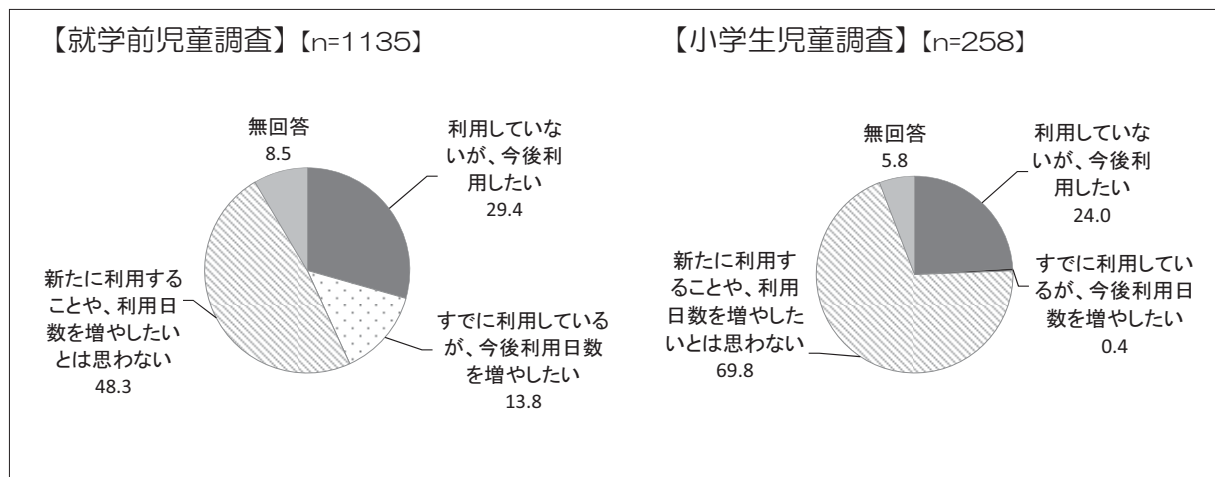


○就学前児童調査の地域子育て支援拠点事業の利用状況は、「利用している」が31.9%、「利用していない」が70.0%となった。

○小学生児童調査の地域子育て支援拠点事業の利用状況は、「利用している」が1.9%、「利用していない」が97.3%となった。

〈利用希望〉（SA）

（単位：％）



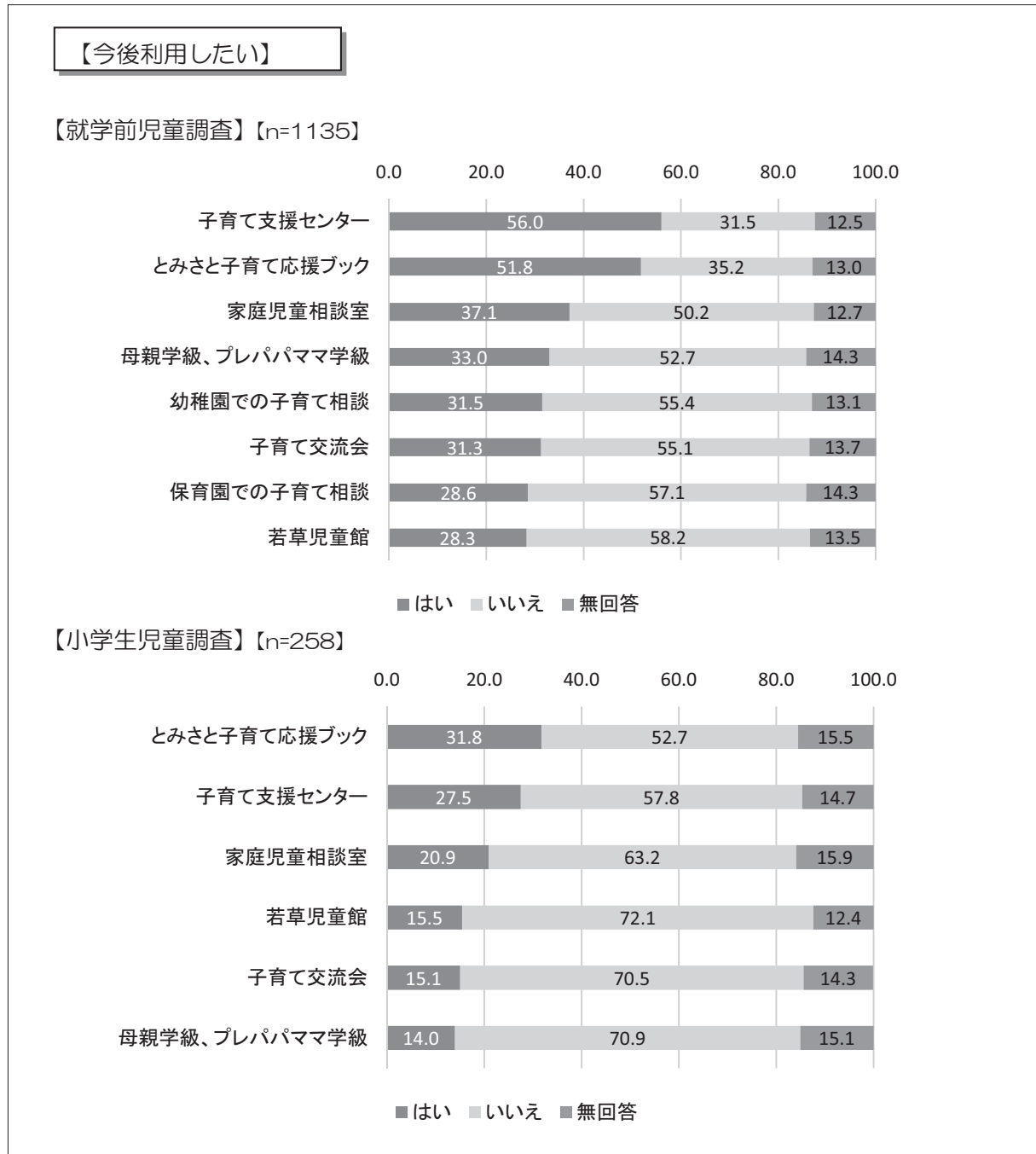
○就学前児童調査の地域子育て支援拠点事業について、今後の利用希望は、「利用していないが、今後利用したい」（29.4%）と「すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい」（13.8%）を合わせた「利用したい」が43.2%となった。

○小学生児童調査の地域子育て支援拠点事業について、今後の利用希望は、「利用していないが、今後利用したい」（24.0%）と「すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい」（0.4%）を合わせた『利用したい』が24.4%となった。

⑤子育て支援サービスや事業

〈利用意向〉(SA)

(単位：%)



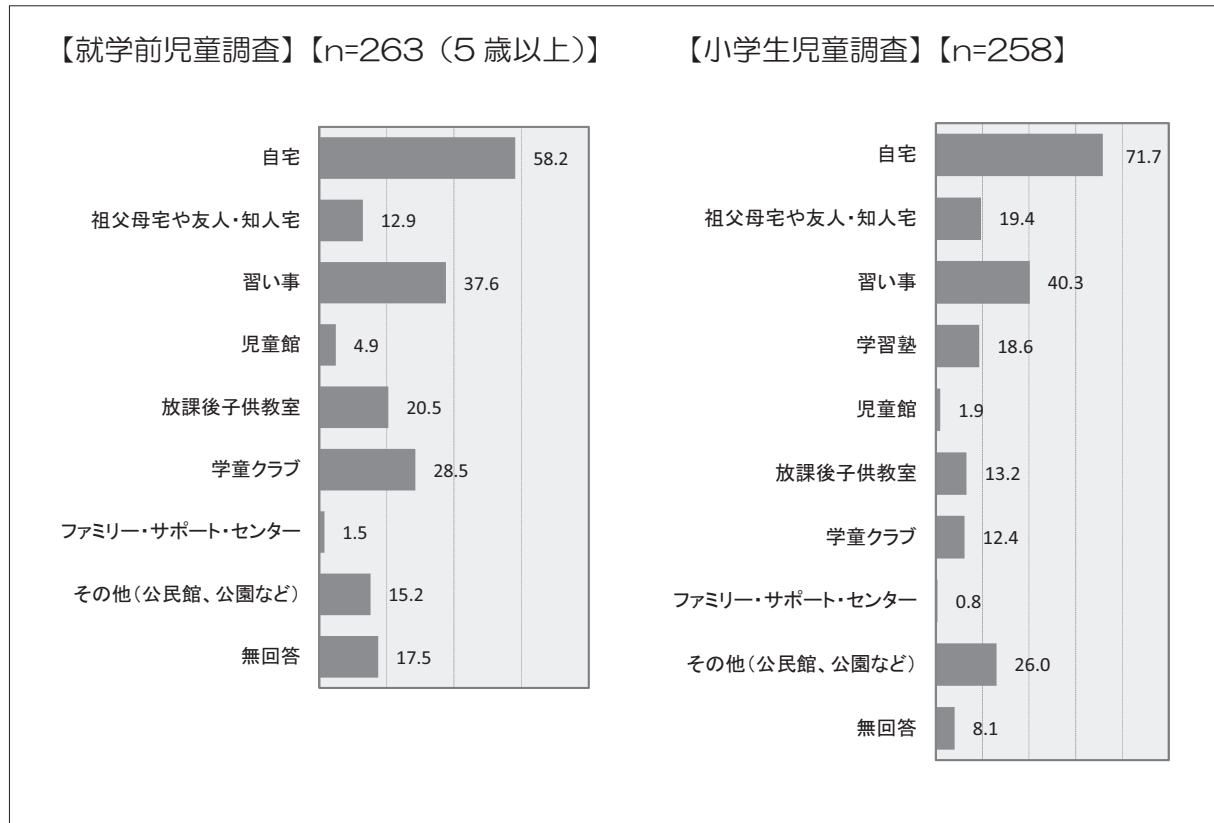
○就学前児童調査の子育て支援サービスや事業における利用意向【今後利用したい】は、「子育て支援センター」が56.0%と最も高く、次いで「とみさと子育て応援ブック」が51.8%と、これらは半数を上回った。

○小学生児童調査の子育て支援サービスや事業における利用意向【今後利用したい】は、「とみさと子育て応援ブック」が31.8%と最も高く、次いで「子育て支援センター」が27.5%、「家庭児童相談室」が20.9%などとなった。

⑥小学校就学後の放課後の過ごし方

〈放課後に過ごさせたい場所（低学年）〉（MA）

（単位：％）

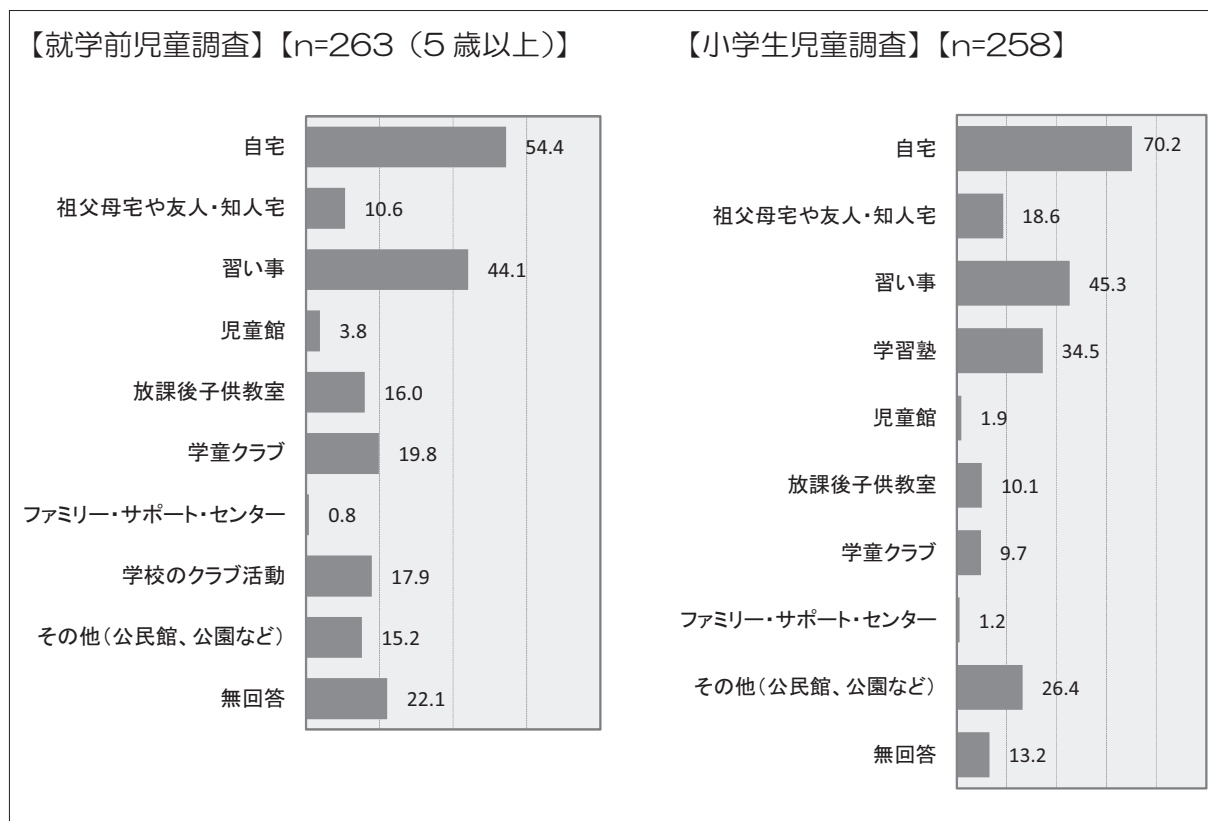


○就学前児童調査の5歳以上の子どもを持つ保護者に、小学校就学後、「放課後に過ごさせたい場所（低学年）」をうかがったところ、「自宅」が58.2%と最も高く、次いで「習い事」が37.6%、「学童クラブ」が28.5%などとなった。

○小学生児童調査の「放課後に過ごさせたい場所（低学年）」をうかがったところ、「自宅」が71.7%と最も高く、次いで「習い事」が40.3%、「祖父母宅や友人・知人宅」が19.4%などとなった。「学童クラブ」は12.4%と1割強にとどまった。

〈放課後に過ごさせたい場所（高学年）〉（MA）

（単位：％）



○就学前児童調査で5歳以上の子どもを持つ保護者に、小学校就学後、「放課後に過ごさせたい場所（高学年）」をうかがったところ、「自宅」が54.4％と最も高く、次いで「習い事」が44.1％となり、上位2項目は低学年と同様となった。「学童クラブ」は19.8％にとどまり、低学年（28.5％）に比べて8.7ポイント下回った。

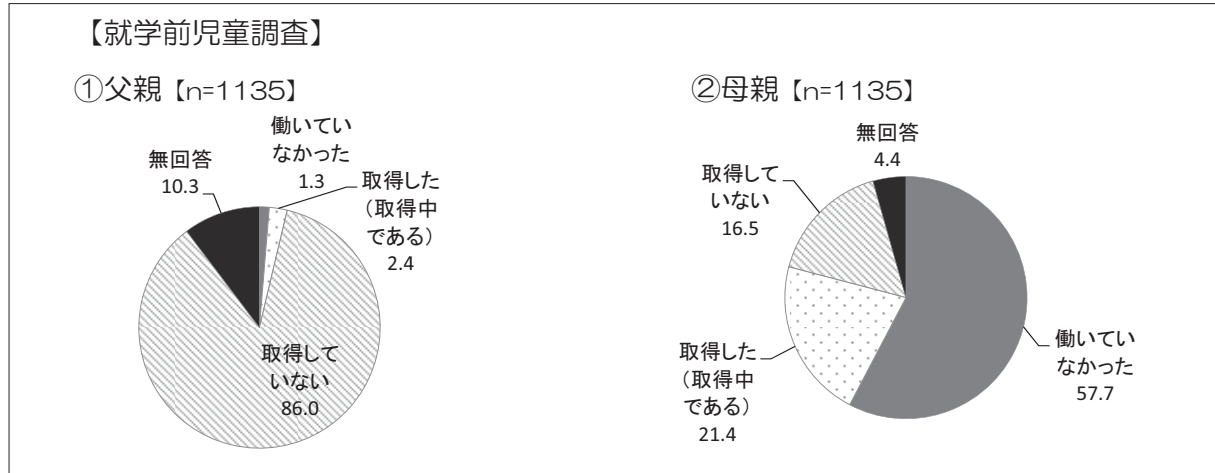
○小学生児童調査で「放課後に過ごさせたい場所（高学年）」をうかがったところ、「自宅」が70.2％と最も高く、次いで「習い事」が45.3％、「学習塾」が34.5％などとなった。「学童クラブ」は9.7％と1割弱にとどまった。



⑦育児休業制度（就学前児童のみ）

〈育児休業取得状況〉（SA）

（単位：％）

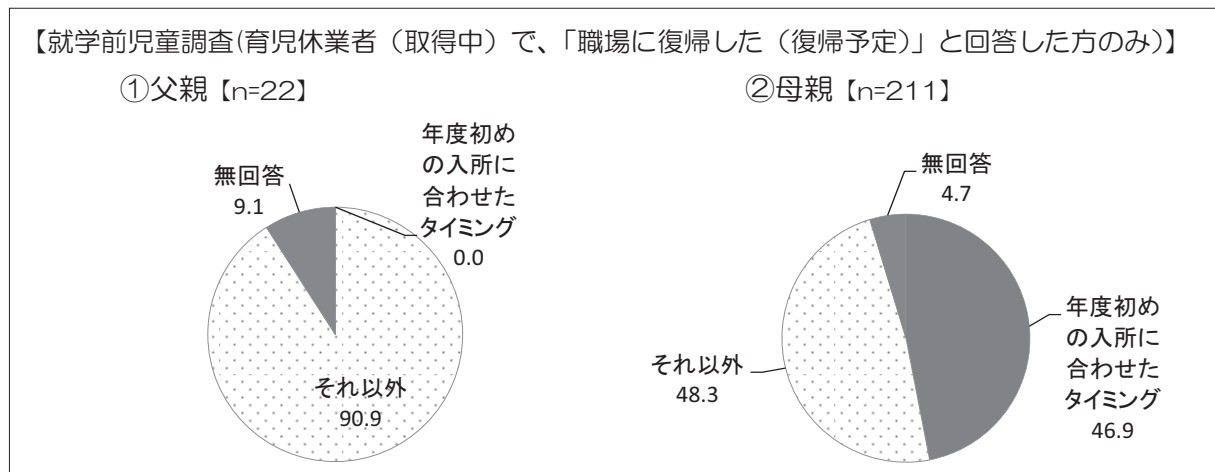


○育児休業制度の取得状況を見ると、「取得した（取得中である）」は父親が2.4％，母親が21.4％と父親は少数であった。「取得していない」は父親が86.0％，母親が16.5％となった。

○取得していない理由は，父親は「必要がなかった」が34.8％と最も高く，次いで「仕事が忙しかった」が34.1％などとなった。母親は「子育てや家事に専念するため退職した」が34.8％と最も高く，次いで「職場に育児休業の制度がなかった」が13.9％などとなった。

〈職場に復帰した時期〉（SA）

（単位：％）



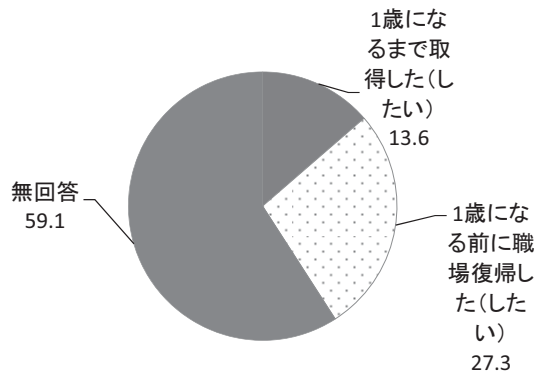
○育児休業から職場に復帰した時期は，母親は「年度初めの入所に合わせたタイミング」が46.9％と最も高く，父親は該当者がいなかった。「それ（年度初めの入所に合わせたタイミング）以外」は，父親が90.9％，母親が48.3％となった。

〈1歳になるまでの育児休業取得意向〉(SA)

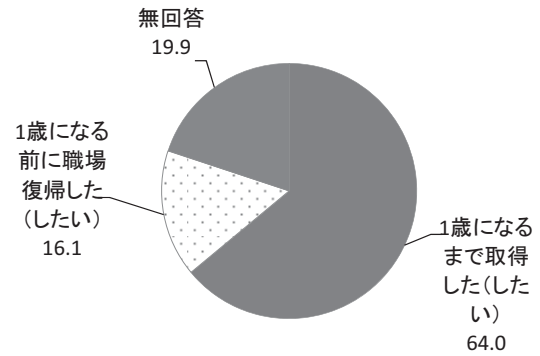
(単位：%)

【就学前児童調査(育児休業者(取得中)で、「職場に復帰した(復帰予定)」と回答した方のみ)】

①父親【n=22】



②母親【n=211】



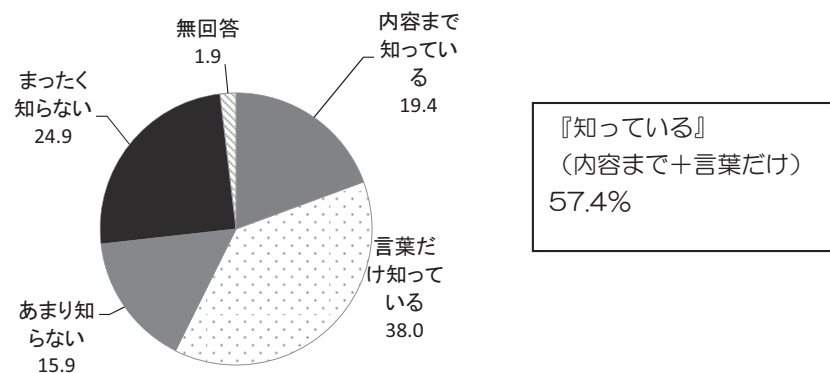
○育児休業後に職場に復帰した保護者と育児休業中の保護者において、1歳になるまでの育児休業取得意向をみると、「1歳になるまで取得した(したい)」は母親が64.0%、父親が13.6%、「1歳になる前に職場復帰した(したい)」は母親が16.1%、父親が27.3%となった。母親は必ず預けられる保育園があれば育児休業を長く取得したい意向がみられる。

⑧認定こども園について(就学前児童のみ)

〈認定こども園の認知度と考え〉(SA)

(単位：%)

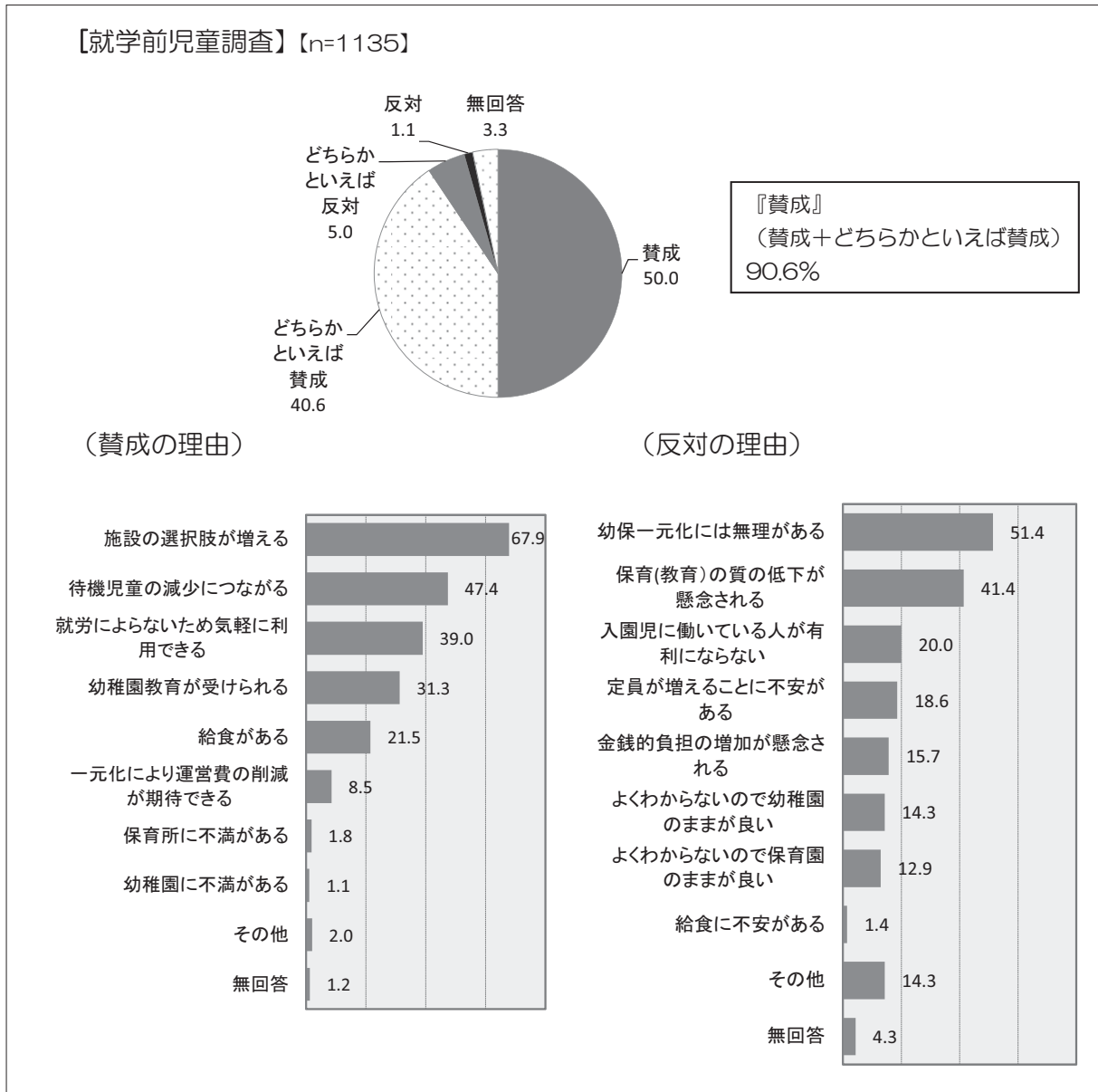
【就学前児童調査】【n=1135】



○認定こども園の認知度は、「内容まで知っている」(19.4%)と「言葉だけ知っている」(38.0%)を合わせた『知っている』は、57.4%となり6割弱を占めた。

〈認定こども園に対する考え〉（SA：理由はMA）

（単位：％）



○認定こども園に対する考えをみると、「賛成」と「どちらかといえば賛成」を合わせた『賛成』は、90.6%と高い割合を占めた。

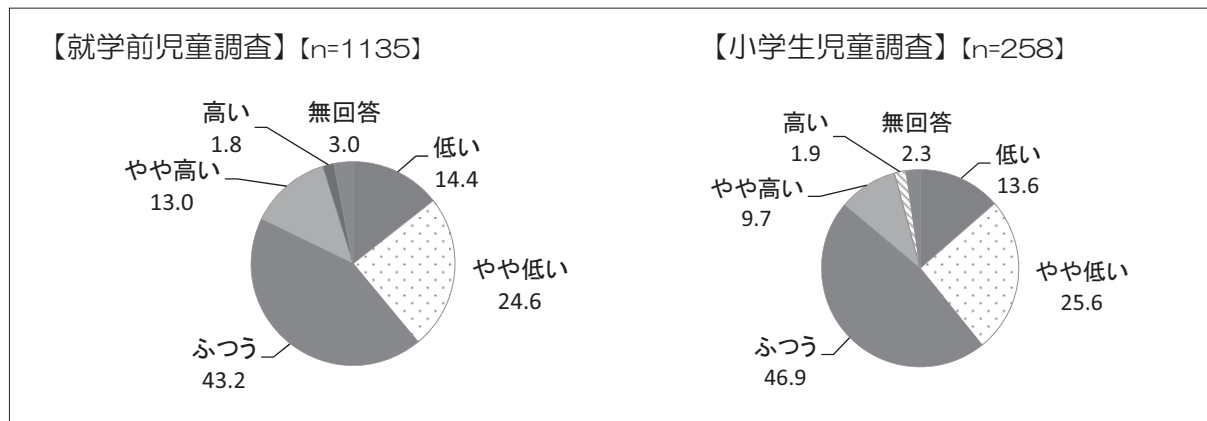
○前問で『賛成』と回答した保護者に理由をうかがったところ、「施設の選択肢が増える」が67.9%と最も高く、次いで「待機児童の減少につながる」が47.4%などとなった。

○前問で『反対』と回答した保護者に理由をうかがったところ、「幼保一元化には無理がある」が51.4%と最も高く、次いで「保育(教育)の質の低下が懸念される」が41.4%などとなった。

◎行政サービス

〈住まいの地域における子育て支援や環境の満足度〉(SA)

(単位：%)



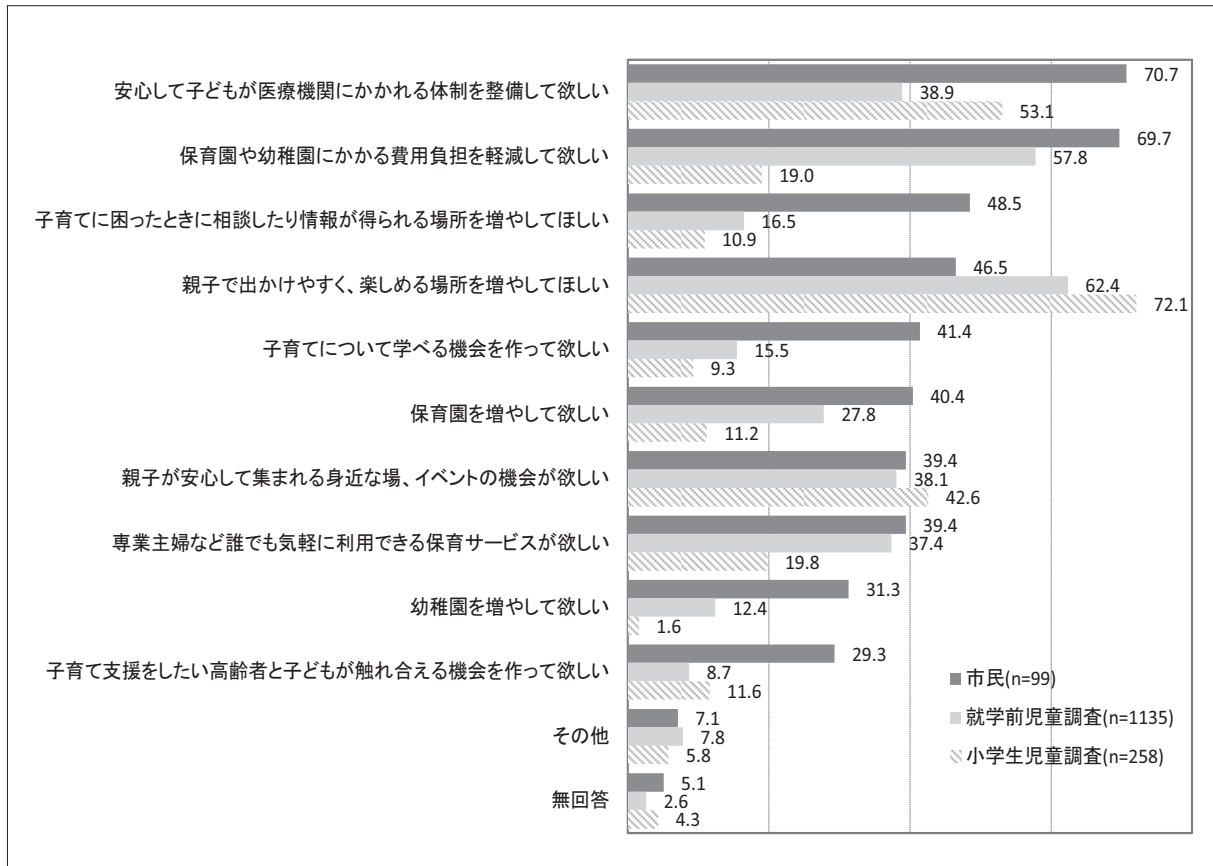
○就学前児童調査の住まいの地域における子育て支援や環境の満足度は、満足度が「低い」と「やや低い」を合わせた『低い』(39.0%)が、満足度が「高い」と「やや高い」を合わせた『高い』(14.8%)を24.2ポイント上回った。

○小学生児童調査の住まいの地域における子育て環境や支援への満足度をみると、「低い」と「やや低い」を合わせた『低い』(39.2%)が、満足度が「高い」と「やや高い」を合わせた『高い』(11.6%)を27.6ポイント上回った。



〈充実を図ってほしい市のサービス〉(MA)

(単位：%)



○就学前児童調査の充実を図ってほしい市のサービスは、「親子で出かけやすく、楽しめる場所を増やして欲しい」が62.4%と最も高く、次いで「保育園や幼稚園にかかる費用負担を軽減して欲しい」が57.8%、「安心して子どもが医療機関にかかれる体制を整備して欲しい」が38.9%などとなった。子連れで楽しめる場所の充実や教育・保育事業の費用軽減を希望する保護者が多い。

○小学生児童調査の充実を図ってほしい市のサービスは、「親子で出かけやすく、楽しめる場所を増やして欲しい」が72.1%と最も高く、次いで「安心して子どもが医療機関にかかれる体制を整備して欲しい」が53.1%、「親子が安心して集まれる身近な場、イベントの機会が欲しい」が42.6%などとなった。就学前児童調査と同様に、子どもが楽しめる場所の充実や医療機関の体制整備を希望する保護者が多い。

⑩次世代育成支援行動計画における重点施策の満足度と重要度

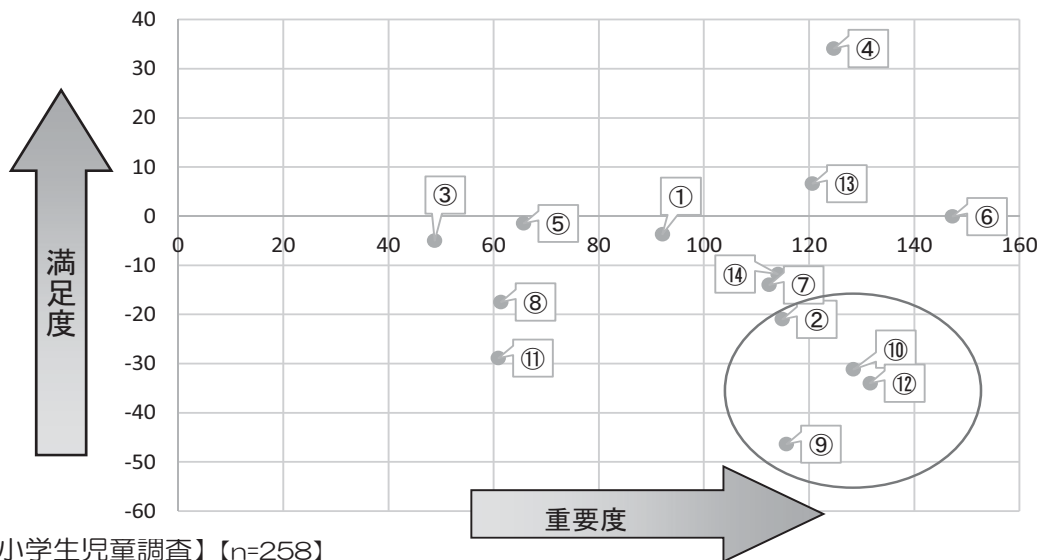
次世代育成支援行動計画における重点施策の満足度と重要度を指数化して比較したところ、重要度が高く満足度の低い施策は、子育て支援に関連することだけでなく「子どもの交通安全を確保するための活動」や「良質な住環境の確保」など、まちづくり全体に関する施策が多くなった。

※指数化

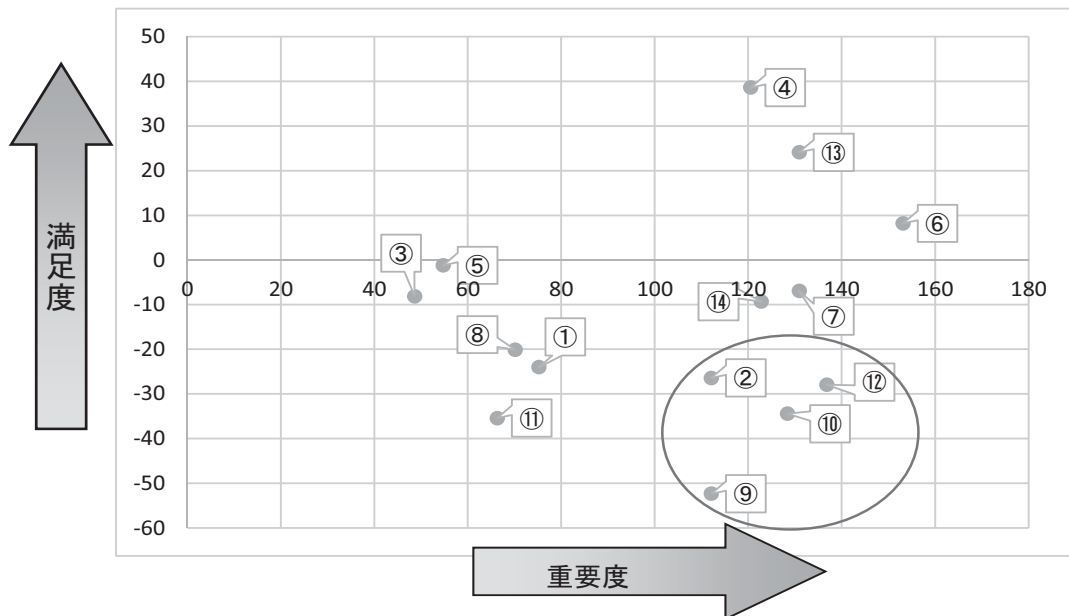
満足度：満足度が「高い」× (2) + 「やや高い」× (1) + 「やや低い」× (-1) + 「低い」× (-2)

重要度：重要度が「高い」× (2) + 「やや高い」× (1) + 「やや低い」× (-1) + 「低い」× (-2)

【就学前児童調査】【n=1135】



【小学生児童調査】【n=258】



重点施策	
①子育て支援サービス	⑧家庭や地域の教育力の向上
②保育サービス	⑨良質な住環境の確保
③子育てネットワークづくり	⑩安心・安全なまちづくりの推進
④子どもや母親の健康の確保	⑪仕事と生活の調和実現に向けた情報発信・啓発
⑤食育の推進	⑫子どもの交通安全を確保するための活動
⑥小児医療の整備	⑬防犯体制の整備
⑦学校教育環境の整備	⑭児童虐待防止対策の充実

4 子育て座談会

(1) 開催主旨

本件は「富里市子ども・子育て支援新制度ニーズ調査及び計画策定業務」の一環として、富里市内在住の母親（12名）に集まってお話いただき、子育て環境における市の魅力や改善点などについての意見を聞く「子育て座談会」を実施しました。

(2) 実施要領

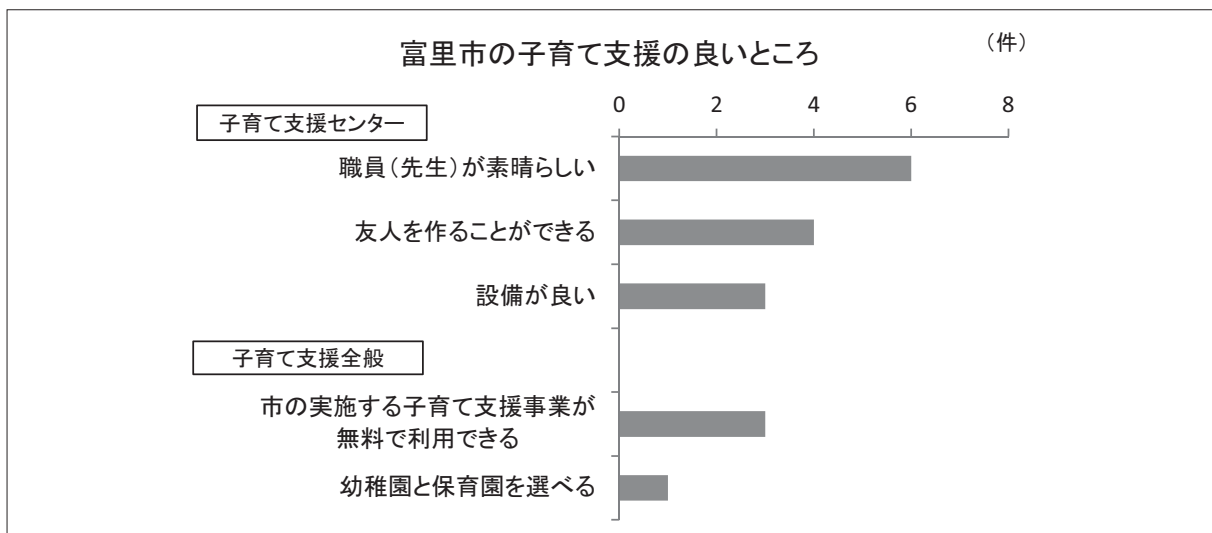
日 時	平成 26 年 2 月 21 日 10:00～12:00	
場 所	富里市葉山保育園内 子育て支援センター	
参 加 者	市内在住の子どもを持つ母親	12 名
	お子さん（4歳3名，3歳1名，2歳3名，1歳8名，0歳2名）	17 名

【座談会の様子】

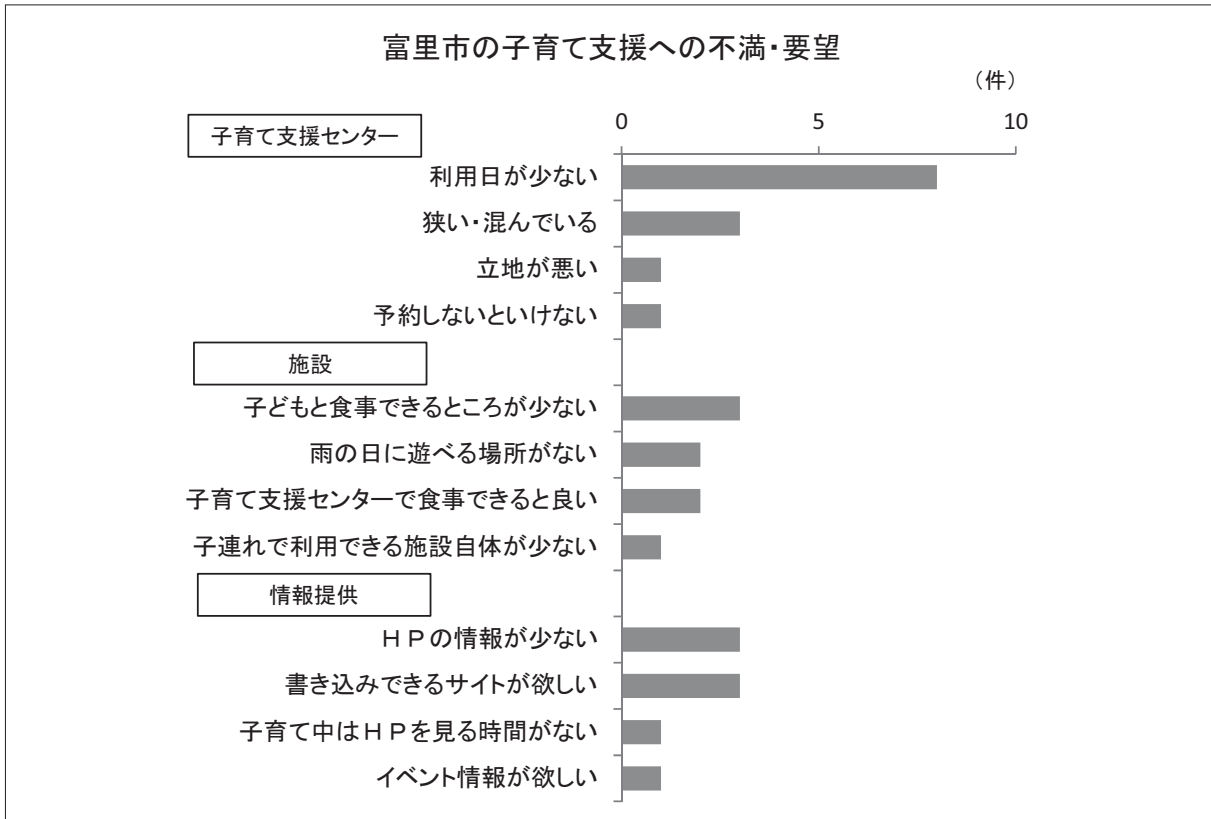


(3) 意見件数

座談会における「富里市の子育て支援の良いところ」に関する意見では、子育て支援センターの良さに関する意見が多く、特に職員を評価する声が多くなっています。



「富里市の子育て支援への不満・要望」に関する意見では、子育て支援センターについては利用日が少ないことについての意見が多くなっています。また、その他の意見では、施設利用に関することや、情報提供に関する意見もありました。



(4) 主な意見

●現在の住まい（富里市）を選んだ理由

富里市で生まれ育ち富里市に住んでいる。バス停が近く家から駅まで出やすいため、子どもが大きくなったときにバスに乗ることを見越して選んだ。
富里市で生まれ育った。仕事が成田空港関連なので富里市が便利。富里市以外に住むことも考えたが、家賃が安く物件が良かったため富里市を選んだ。
結婚を機に富里市に住んだ。周辺にお店があって便利。
結婚を機に都内から富里市へ転入。
生まれも育ちも富里市。田舎でのんびりした所や自然が多いところが好きであったため、都内より富里市を選択した。

●富里市の子育てで良さを感じるどころ

1. 子育て支援センター	
	床暖房の設備があり清潔で、職員の方も親切である。
	母と一緒に利用しているが、職員が母でもよく話しかけ親切である。
	子育て支援センター、子育てキラキラ、ミルクガーデンなど、無料の施設を探して利用している。
	予約制は面倒であるため、予約なしで気軽に行ける方が良い。
	色々な方と話ができることが嬉しい。
	同じ年齢同士の母親と情報交換するのが楽しい。
2. 自然環境	
	富里市には畑がたくさんあるため、季節の野菜を見たり、子どもに旬の野菜の時期を教えたりできる。
	どろんこ遊びができて、のんびり過ごせる。
	家ですいかを栽培しているため、おやつはすいか。家で作ったおいしいものを子どもに食べさせることができる。
3. 医療費助成	
	医療費助成制度が中学3年まで利用できる。
4. サークル活動	
	母親学級で知り合ったママたちと情報を交換することができた。
	母乳サークルでは、母乳、病院、出産に関する情報を知ることができた。実際にどのように対処したかなどの体験談を聞くことができ参考になった。
5. 地域活動	
	社会福祉協議会では、子どもが小さい時に自分たちだけでは経験させられないことを無料（格安）で実施してくれる。
	第一小学校区では、地域とのつながりが良く、前から住んでいる方たちの話が聞ける。幼稚園との交流会もあり、幼稚園の様子が良くわかる。

●富里市の子育てで不満を感じるどころ及び要望

1. 子育て支援センター	<p>とにかく遊ぶ場所がない。室内遊びができる場所は支援センターのみである。座談会の会場（保育園のホール）を毎日解放して欲しい。</p> <p>年齢別に曜日が分かれているのはよいが、遊ぶ日が限られているのが悩み。</p> <p>施設がもっと広ければ、快適に遊べる。</p> <p>いつでも行ける場所が一つ欲しい。</p> <p>支援センターに毎日行きたい。</p>
2. 子どもと食事ができる場所	<p>市内に子どもと一緒にご飯を食べられる場所（店）が少ない。</p> <p>お座敷の場所がほとんどなく、ゆっくり食べられない。</p> <p>一日中居られて、子どもが食事できる施設が欲しい。</p> <p>支援センターでご飯を食べられる場所が欲しい。持ち込みを可能にして欲しい。</p>
3. 遊び場について	<p>身体を動かして遊べる施設や雨でも遊ばすことのできる場所があると良い。</p> <p>中央公園はとても綺麗だが、その他の公園は、清掃されていない場所もあるため、綺麗で、行きやすい公園を増やして欲しい。</p>
4. 買物	<p>歩いて行ける場所にお店がなく、生後2か月ころから車に乗せて買い物をしていた。</p>
5. 保育サービス	<p>認可外の保育園に預けるか迷っている。成田市では認可外の保育園でも補助があるが、富里市も同様の補助が欲しい。</p> <p>就労条件のない無認可保育施設を増やして欲しい。</p> <p>幼稚園は夏休みの間は預かり保育がないため、幼稚園が休みの時期の預かり保育を実施して欲しい。働くための子どもを預ける場所が少ない。</p> <p>一時保育を利用しているが、一日5人までとなっていることから、夏休み、冬休み中は利用しづらく、利用できる施設を増やして欲しい。</p> <p>ファミリー・サポート・センターは、急に預けるのは抵抗があるため、定期的に預けられる場所が欲しい。子どもたちが慣れている所に預けたい。</p>

6. 認定こども園	
	幼稚園と保育園の保育料以外の違いがよく分からない。情報が欲しい。
	実際のメリット、デメリットがよく分からない。
	インターネットや新聞ではイメージが様々でわかりづらい。保育の中で、幼稚園のような教育をしてくれるのか、仕事をしていなくても利用できるのかよく分からない。
7. サークル活動	
	産後は精神状態が悪くなるため、家以外で過ごせる場所があると母も子も救われる。車を持っていない人のために市のバスを走らせるなど、各施設をまわることができる。と出かけやすくなる。
	産後はこもりがちになるので、外に気持ちを向けさせる楽しい企画があると良い。
8. 情報提供	
	インターネットで情報収集しているが、全国レベルのサイトでは、富里市の情報は集まらない。富里市の周辺地域に関する書き込みなど、子どもを連れて食事がしやすい場所や予防接種の情報などを皆で共有できる、口コミ情報サイトとかがあると良い。
	色々な場所で子どもを遊ばすことのできるイベントを実施しているが、情報を見逃すこともあるため、イベントカレンダーが欲しい。
	幼稚園の情報が少ない。電話で問い合わせは抵抗がある。専門サイトが欲しい。
	「ママフレ」は、他サイトのリンクが張っているだけなので、掲示板があると良い。
9. 歩道整備	
	歩道を整備して欲しい。自然があって散歩できる環境があるにもかかわらず、道が細いうえに車の通りが激しい。子どもと歩くのが怖い。
	小学校までの通学路が危険で、母親と子どもと一緒に登校している。将来、自分の子どもが小学生になった時に不安である。



5 調査からみえてきたこと

アンケート調査や座談会の意見を項目別にまとめたところ、以下のような施策の方向性が求められていることがみえてきました。また、★は特に意見が多かった項目であり、市民ニーズが高いと考えられます。

<アンケート・座談会意見まとめ>

	アンケート	アンケート (市民 25～35歳)	アンケート自由意見	座談会	市民の 期待度	方向性	
保育園	保育園利用者割合が幼稚園より高い ----- 育児休業取得者の約半数は年度初めに復帰		保育園を増やしてほしい(少ないため入れない) ----- 一時保育の定員を増やしてほしい(利用したい時に利用できない)	認可外でもよいので子どもを預けられるところが欲しい	★	・保育サービスの量の拡大 ・認定こども園、認可外 ----- など多様な形態での保育サービスの提供	教育・保育サービスの量の確保
認定こども園	将来認定こども園を利用したいは2割 ----- 認定こども園の認知度は6割 認定こども園に賛成は9割			認定こども園のメリット・デメリットを知りたい			
病児保育	子どもが病気の際に預けたい人は4割		病児保育を実施してほしい			・病児・病後児保育の実施	
幼稚園	将来利用したい事業では幼稚園がトップ(6割)特に預かり保育は(4割) ----- 夏休みに利用したいは56%(週に数日も含む)		公立幼稚園を3年保育にしてほしい ----- 夏休みも幼稚園で預かってくれる仕組みが欲しい	幼稚園でも夏休みに預かり保育をしてほしい	★	・幼稚園での預かり保育の充実	
こどもルーム	低学年で利用したいは3割、高学年でも2割(5歳児回答)		すべての小学校にこどもルームを設置してほしい			・こどもルームの増設	
子育て支援サービス	支援センター認知度は9割と高い 今後の利用希望も5割超 ----- 一時預かり利用希望は4割(保育園7割、幼稚園4割) ----- 子育て支援の満足度は低い(低い39%、高い15%)		支援センターは利用時間、曜日限定せず(土日)使いたい	支援センターはとても良い。同じ年齢の子どもの母親と友達になれる	★	・子育て支援センター機能の拡充	安心して子育てできる仕組みづくり
相談・仲間づくり	悩みや不安は「子どものしつけ・生活習慣」が5割でトップ ----- 相談先として子育て支援センター利用は15%	[出会いの場に参加したい]は37%	予約なしで気軽に相談できる場所が欲しい ----- 頼れる人が少ない人、母子父子家庭への支援を充実してほしい ----- 同じ年齢・同じ地域で仲間が作れる場が欲しい	支援センターの職員は親切で相談によくのってくれる	★	・気軽に相談できる機会の充実 ・仲間づくりの場の提供	
情報	子育ての相談や情報提供は半数が充実を望んでいる ----- 子育てについて学べる機会の充実が4割が望んでいる ----- 子ども触れ合う機会が今までなかったは4割		メール配信や郵送など直接届く形式で定期的に情報を発信してほしい	インターネットで情報を集めているが富里の情報は集めにくい ----- ママフレに掲示板を作って情報を書き込めるようにしてはどうか ----- 「お得な情報」など関心を引く情報発信をしてはどうか		・定期的な情報発信する仕組みの検討	
経済的負担	充実してほしい市の施策で保育園や幼稚園費用の負担軽減は6割		保育料をもっと低額にしてほしい ----- 予防接種の補助を充実してほしい	医療費助成制度が中学3年生まで利用できるのは良い		・多様な手法による経済的支援の検討	
親子で出かける場・機会	親子で出かけやすい場所の増加は6割が望んでいる ----- 身近な場でのイベントは4割が希望		子どもと一緒にイベントやサークル活動に参加したい ----- 高齢者との交流の場に参加してみたい ----- 公園を増やしてほしい ----- 雨の日でも遊べる場が欲しい	親子で遊べる場が少ない。室内で遊べる場は支援センターしかない。 ----- 支援センターは狭く、利用日も限定されており使い勝手が悪い	★	・親子で遊べる場の充実 ・雨の日でも遊べる場の設置 ・公園の整備充実	子育てしやすい地域づくり
まちづくり	施策の満足度が低く、重要度が高いのは交通安全の確保、安全安心なまちづくり、良質な住環境の確保	富里市への定住意向で4割は「住み続けたくない」	通学路の安全確保 ----- 歩道の確保	散歩しやすいように歩道を整備してほしい	★	・道路の安全確保	安全な道路整備

⑥ 子育てにおける本市の課題

(1) 働く場の多い地域特性を踏まえた保育サービスの量の確保

本市は成田空港や酒々井アウトレットモールに近く、雇用の場に恵まれた立地です。正規雇用だけでなく、パート等の非正規雇用でも就労する機会が多いことは、出産等により退職した母親に対して、子どもの成長に応じた再就職の動機付けになっていると考えられます。

平成24年度に保育園が新設された際に、大幅に待機児童が増加していることから、「保育サービスさえ利用できれば働きたい」と考える母親は多くいると考えられます。平成26年度にはこれまで以上に待機児童が増加しており、保育ニーズはますます高まっているといえます。

雇用の場に恵まれた立地を生かして、高い保育ニーズに対応し、働きたいという希望を持っている人が働けるよう、保育サービスの量を確保する必要があります。

(2) 幼稚園の預かり保育の拡充や認定こども園の検討

本市には公立幼稚園が3園ありますが、いずれも2年保育であり、預かり保育の提供時間も16時までとなっています。公立幼稚園は費用面の魅力から一定のニーズがあり、利用者からは3年保育や預かり保育時間の延長に対する要望が高くなっています。

さらに、夏休みなどの長期休暇中の一時保育ニーズも高く、短時間での就労を希望する保護者の増加を表していると考えられることから、保育時間の拡大を踏まえた幼稚園機能の充実が必要です。

また、幼児期の教育ニーズを満たし、保育ニーズにも対応できる「認定こども園」については、アンケート調査において9割が「賛成」と回答しています。本市ではまだ認定こども園は未設置ですが、これらの状況を踏まえると、認定こども園の設置により、教育・保育の双方のニーズに答えていくことが有効と考えられます。

(3) 利用ニーズの高い子育て支援センターの拡充

子育て支援センターは現在1か所ですが、利用希望者は多く、利用者の多くがリピーターとなっています。特に職員による相談機能の評価が高く、気軽に相談できる場として多くの母親に支持されています。

子育て支援センターは子どもを持つ保護者の交流の場としての機能もありますが、設置場所の面積の制約により、一度に多くの利用者を受け入れることが難しい状況です。小さい子どもを連れた保護者が気兼ねなく遊びに行ける場、雨の日でも遊びに行ける場が求められていることから、子育て支援センターの拡充や増設により、多くの保護者と子どもが利用できる環境づくりが必要です。

(4) 転入者や若い世代に対応した相談体制の充実

本市の人口動態を見ると、転入者数と転出者数はほぼ拮抗しており、平成25年度ではその差は92人とわずかです。市内では小規模な住宅開発も進んでおり、特に賃貸物件は比較的安価であるため、若い世代の流入が見られます。

一方、相談件数においては、近年、件数が増加傾向にあることや、一定の割合で虐待に関する相談件数もみられていることから、孤立した育児環境におかれている子育て家庭の早期把握が重要となっています。

このような状況に対応するため、子育てに関するわかりやすい情報提供とともに、気軽に相談できる体制づくりが求められます。特に、「どこに行ったらいいかわからない」市民に対応できるよう、ワンストップの相談対応窓口を設置し、相談だけでなく市民サービスに関する幅広い情報提供を可能にすることが必要です。また、情報発信だけでなく、子育て家庭へ訪問するなど、困っている家庭を見つけ出し、虐待等の未然防止につなげていくことも重要です。

(5) 小学生のための安全な居場所の確保

本市の学童クラブは7か所あり、そのうち2か所は民設民営であり、小学校の外に設置されています。

就学前の保育サービスの充実とともに、いわゆる「小1の壁」をなくすために、すべての小学校に学童クラブを設置する必要があります。また、小学校施設内に設置していない学童クラブについては、児童の安全を確保するため、利用者の意向を踏まえながら、小学校施設内での運営への移行を検討する必要があります。

また、放課後子供教室は、6校での実施にとどまっており、すべての小学校で放課後子供教室が実施できるよう、地域住民に協力を求めていくことが必要です。また、「放課後子ども総合プラン」に基づき、共働き家庭等の児童を含めたすべての児童が多様な体験・活動を行うことができるよう、学童クラブとの連携を図り、一体的な事業実施を推進する必要があります。

(6) 子どもや子育て世代が安心して暮らせるまちづくりの推進

次世代育成支援行動計画における重点施策で重要度が高く満足度の低い施策は、「子どもの交通安全を確保するための活動」や「良質な住環境の確保」など、まちづくり全体に関するものとなっています。アンケートの自由記入でも、歩道の整備や通学路の安全確保を要望する意見が多くみられています。本市における子育て支援の充実・強化は、子育て支援に関連する保育サービス等の充実だけでなく、住環境や生活道路での安全性の確保など、まちづくり全体に関連する施策においても求められているといえます。

第3章 計画の基本的方向



1 基本理念

子どもが健やかにいきいきと輝く富里

《ゆめの創造》 すべての子どもが幸せに育つ

《きぼうの創造》 地域に応援されて親も育つ

《よろこびの創造》 子育て・子育てを大切にする地域が育つ

子どもを「生み・育てる」ことは、社会を維持し次代を創造する営みであり、その意味において、非常に大切なことといえます。

本市では、子どもを持ちたいと思う誰もが、安心して子どもを生み、また、子育てを楽しいと感じ、そして何よりも富里市のすべての子どもが心豊かにたくましく成長できる環境づくりを一層強力に進めていきます。そのために、行政はもとより、地域住民や学校、企業など地域全体の応援が必要不可欠であり、共に協力・連携して子育て支援に取り組む必要があります。

富里市子ども・子育て支援事業計画では、「富里市次世代育成支援後期行動計画」で示した“子どもが健やかにいきいきと輝く富里”の理念を継承しながら、良質で適切な水準の子育て支援策の提供に努めていきます。特に、社会的な支援を必要とする子どもや家庭に配慮し、すべての子どもが健やかに育ち、すべての子育て家庭が安心して子どもを育てられる地域の実現に向けて“ゆめ、きぼう、よろこび”を創造し、着実に一歩ずつ実現させていきます。



2 基本目標

4つの基本目標を掲げて、本市における子ども・子育て支援を展開していきます。

基本目標1 希望するすべての子どもが質の高い教育・保育施設を利用できるようにします

- 希望するすべての子どもが質の高い教育・保育施設を利用できるよう、地域性を考慮しつつ、認定こども園や地域型保育事業等の保育施設の充実を図ります。また、各保育園と医療機関等との連携により、病児・病後児保育事業を実施し、きめ細やかなサービスを提供します。
- 学校施設等の教育環境を整備するとともに、児童の「心を育てる教育」の充実を図るため、教職員の資質向上、家庭や地域の教育力の向上及び学校、地域、家庭の連携強化を進めていきます。
- ひとり親家庭や外国人家庭のように、情報が行き届きにくい家庭に対して、行政機関や地域が連携して情報提供をはじめとした支援を行っていきます。
- 障がいのある子どものために、関係機関の連携を強化して、早期からの支援及び就学指導を図るなど、支援体制の充実に努めます。
- 地域で子育てを応援する仕組みを充実させることにより、仕事と育児を両立しながら、安心して子育てができる環境づくりを行います。

基本目標2 すべての親が安心して子育てできる仕組みをつくります

- 関係機関と連携し、子育てに有用な情報提供を行うとともに、相談窓口の一元化を充実していきます。
- 各種相談事業を強化するとともに、きめ細かい保健指導により、安全・快適に妊娠・出産ができる環境づくりを推進し、子どもや母親の健康の確保に努めます。
- 経済的な支援や情報の提供を行うとともに、地域の医療機関等との連携を進め、小児医療体制の充実を図ります。
- 男女が協力して家庭を築くことや、子育ての楽しさや子どもを生き育てることの意義に関する教育・広報・啓発活動を推進します。
- ワーク・ライフ・バランス意識の普及・啓発活動や、育児休暇制度をはじめとした育児のための両立支援制度及び両立支援助成金について広く周知を行います。

基本目標3 子育てを地域全体で応援します

- 学校と地域が連携した異年齢児の交流活動を通じて、地域で子どもが健やかにいきいきと成長していける育成環境づくりを推進します。
- 食生活についての指導・相談を行い、食を通じた心身ともに健康な子どもの育成や、食を通じた家族との良好な関係づくりの促進を図ります。
- 学校・保健所等と連携を図りながら、思春期における健康教育の実施や啓発・周知を行います。
- 家庭、学校、地域との連携のもと情報提供や環境整備を推進し、家庭や地域における教育力を総合的に高めていきます。
- 関係機関のネットワークを強化し、情報共有化を図りながら、要保護児童への早期対応が行えるよう体制の充実を図ります。

基本目標4 すべての子どもが伸び伸び成長できる安全な環境を整備します。

- 子どもたちが良好で安全な環境の中で、安心して過ごすことのできる住環境や遊び場づくりを進めます。
- 子どもや子育て家庭が安心して生活・外出できるよう、道路交通環境の整備を行い、良好な生活環境を確保したまちづくりを推進します。
- 警察、交通安全協会等関係団体と協力し、交通安全の啓発など地域ぐるみの交通安全運動を展開します。
- 地域全体で防犯意識を高めるとともに、防犯教室・防犯訓練の充実や各種情報発信ツールの活用により子どもを犯罪等の被害から守ります。



③ 重点プロジェクト

基本理念に基づき基本目標を達成するため、3つの「重点プロジェクト」を設定し、特に力を入れて実施していきます。

重点プロジェクト 1

認定こども園の普及を促進します

- 公立幼稚園・保育園の認定こども園化を推進し、質の高い教育・保育環境整備を早期に実現させます。
- 私立幼稚園・保育園の認定こども園化を促進します。

重点プロジェクト 2

幼稚園の長時間預かり保育実施を推進します

- 市民ニーズの高い幼稚園の預かり保育について、保育時間の延長や、長期休暇時期における預かり保育の充実を図ります。

重点プロジェクト 3

地域子育て支援センターの機能を強化します

- 現在1か所の地域子育て支援センターを複数箇所を実施します。
- 「こども館」の新設により、相談や遊び場の提供など、多様な子育て支援機能を強化します。



4 基本施策

4つの基本目標に対応する基本施策を設定し、その達成に向けた取組みを展開していきます。

基本目標1 希望するすべての子どもが質の高い教育・保育施設を利用できるようにします

- 《基本施策》
1. 教育・保育施設の充実
 2. 保育サービスの充実
 3. 子どもの生きる力の育成に向けた教育環境の充実
 4. きめ細かな支援が必要な取組み
 5. 障がいのある子どもなどへの支援の充実
 6. 仕事と子育ての両立のための基盤整備

基本目標2 すべての親が安心して子育てできる仕組みをつくります

- 《基本施策》
1. 地域における子育て支援サービスの充実
 2. 子育てネットワークづくり
 3. 子どもや母親の健康の確保
 4. 小児医療の充実
 5. 次代の親の育成
 6. 仕事と生活の調和の実現のための働き方の見直し

基本目標3 子育てを地域全体で応援します

- 《基本施策》
1. 児童の健全育成
 2. 「食育」の推進
 3. 思春期保健対策の充実
 4. 家庭や地域の教育力の向上
 5. 児童虐待防止対策の充実

基本目標4 すべての子どもが伸び伸び成長できる安全な環境を整備します

- 《基本施策》
1. 安心して過ごすことのできる住環境・遊び場の確保
 2. 安心・安全なまちづくりの推進
 3. 子どもの交通安全を確保するための活動の推進
 4. 子どもを犯罪等の被害から守るための活動の推進

5 各教育・保育提供区域の設定

本市は南北に広がる市域であり、北部に人口が集中している一方、南部は広大な農地の続く農業の盛んな地域であるなど、地域によって異なった特徴が見られます。

教育・保育サービスを提供するにあたっては、このような特徴を捉え、中学校区と同じ区域である、北部、中部、南部の3つの区域で量の見込みを設定します。

(1) 北部地域

対象行政区	日吉倉, プリンズハイツ, 木戸前, 日吉台1丁目, 日吉台2丁目, 日吉台3丁目, 日吉台4丁目, 日吉台5丁目北, 日吉台5丁目南, 日吉台6丁目, スカイハイツ																																																							
地域の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・宅地開発により整備された地区であり、人口が集中している。 ・成田市の市街地と隣接し、にぎわいの多い地域となっている。 																																																							
教育・保育施設等分布図																																																								
幼稚園・認可保育園の在園状況	<p>【幼稚園の在園状況】 (平成26年5月1日現在)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>園名</th> <th>公私</th> <th>定員</th> <th>在籍数</th> <th>定員充足率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>太子幼稚園</td> <td>私立</td> <td>100</td> <td>78</td> <td>78.0%</td> </tr> <tr> <td>日吉台幼稚園</td> <td>私立</td> <td>180</td> <td>75</td> <td>41.7%</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td></td> <td>280</td> <td>153</td> <td>54.6%</td> </tr> </tbody> </table> <p>【認可保育所の在園状況】 ()内は待機児童数 (平成26年6月1日現在)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>園名</th> <th>公私</th> <th>定員</th> <th>0歳</th> <th>1~2歳</th> <th>3~5歳</th> <th>入所児童数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>青空保育園</td> <td>私立</td> <td>120</td> <td>15 (1)</td> <td>50 (18)</td> <td>78 (1)</td> <td>143 (20)</td> </tr> </tbody> </table>	園名	公私	定員	在籍数	定員充足率	太子幼稚園	私立	100	78	78.0%	日吉台幼稚園	私立	180	75	41.7%	合計		280	153	54.6%	園名	公私	定員	0歳	1~2歳	3~5歳	入所児童数	青空保育園	私立	120	15 (1)	50 (18)	78 (1)	143 (20)																					
園名	公私	定員	在籍数	定員充足率																																																				
太子幼稚園	私立	100	78	78.0%																																																				
日吉台幼稚園	私立	180	75	41.7%																																																				
合計		280	153	54.6%																																																				
園名	公私	定員	0歳	1~2歳	3~5歳	入所児童数																																																		
青空保育園	私立	120	15 (1)	50 (18)	78 (1)	143 (20)																																																		
地域内0~5歳人口動向	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>0歳</th> <th>1~2歳</th> <th>3~5歳</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>H22</td><td>73</td><td>128</td><td>237</td><td>438</td></tr> <tr><td>H23</td><td>70</td><td>133</td><td>209</td><td>412</td></tr> <tr><td>H24</td><td>85</td><td>136</td><td>202</td><td>423</td></tr> <tr><td>H25</td><td>57</td><td>144</td><td>197</td><td>398</td></tr> <tr><td>H26</td><td>55</td><td>136</td><td>180</td><td>371</td></tr> <tr><td>H27</td><td>53</td><td>132</td><td>174</td><td>359</td></tr> <tr><td>H28</td><td>52</td><td>128</td><td>170</td><td>350</td></tr> <tr><td>H29</td><td>50</td><td>124</td><td>165</td><td>339</td></tr> <tr><td>H30</td><td>49</td><td>121</td><td>159</td><td>329</td></tr> <tr><td>H31</td><td>47</td><td>116</td><td>154</td><td>317</td></tr> </tbody> </table> <p>※平成27年度以降は推計値</p>		0歳	1~2歳	3~5歳	合計	H22	73	128	237	438	H23	70	133	209	412	H24	85	136	202	423	H25	57	144	197	398	H26	55	136	180	371	H27	53	132	174	359	H28	52	128	170	350	H29	50	124	165	339	H30	49	121	159	329	H31	47	116	154	317
	0歳	1~2歳	3~5歳	合計																																																				
H22	73	128	237	438																																																				
H23	70	133	209	412																																																				
H24	85	136	202	423																																																				
H25	57	144	197	398																																																				
H26	55	136	180	371																																																				
H27	53	132	174	359																																																				
H28	52	128	170	350																																																				
H29	50	124	165	339																																																				
H30	49	121	159	329																																																				
H31	47	116	154	317																																																				

(2) 中部地域

対象行政区	久能, 栄ニュータウン, 東ヶ丘, 七栄第三, 七栄第六, 人形台西, 七栄人形台, 東内野, 七栄中央, 東七栄, 日吉倉新田, 七栄第一, 七栄第二, 七栄第四, 七栄第五, 小松台, 桜台, 大和, 緑ヶ丘, 北大和, 大和台, 大和ニュータウン, 根木名, 根木名ニュータウン, 富里台, 旭ヶ丘, 成城台, ファミリータウン富里, 南七栄, 南平台, 新橋, 中沢, 新中沢, 新中沢ひまわり, 南山, 松原, 立沢, 花輪台																																																							
地域の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・富里 IC 周辺は, 商業・サービス業などの立地が進み, にぎわいのある地域。 ・国道 409 号, 国道 296 号は市の中心部と富里 IC, 国道 51 号, 成田空港を連絡し, 市の軸としての役割を果たしている。 ・北部は, 山林や農地など多くの自然と住宅地が混在する地域。 ・中心は, 市役所を中心として中央公民館や中央公園など多くの公共施設があり, 人の集う核としての機能が集積している。 																																																							
教育・保育施設等分布図																																																								
幼稚園・認可保育園の在園状況	<p>【幼稚園の在園状況】 (平成26年5月1日現在)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>園名</th> <th>公私</th> <th>定員</th> <th>在籍数</th> <th>定員充足率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>富里幼稚園</td> <td>公立</td> <td>140</td> <td>128</td> <td>91.4%</td> </tr> <tr> <td>末広幼稚園</td> <td>私立</td> <td>190</td> <td>164</td> <td>86.3%</td> </tr> <tr> <td>向台幼稚園</td> <td>公立</td> <td>70</td> <td>56</td> <td>80.0%</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td></td> <td>400</td> <td>348</td> <td>87.0%</td> </tr> </tbody> </table> <p>【認可保育所の在園状況】()内は待機児童数 (平成26年6月1日現在)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>園名</th> <th>公私</th> <th>定員</th> <th>0歳</th> <th>1~2歳</th> <th>3~5歳</th> <th>入所児童数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>富里保育園</td> <td>私立</td> <td>210</td> <td>11 (3)</td> <td>45 (18)</td> <td>136 (2)</td> <td>192 (23)</td> </tr> </tbody> </table>	園名	公私	定員	在籍数	定員充足率	富里幼稚園	公立	140	128	91.4%	末広幼稚園	私立	190	164	86.3%	向台幼稚園	公立	70	56	80.0%	合計		400	348	87.0%	園名	公私	定員	0歳	1~2歳	3~5歳	入所児童数	富里保育園	私立	210	11 (3)	45 (18)	136 (2)	192 (23)																
園名	公私	定員	在籍数	定員充足率																																																				
富里幼稚園	公立	140	128	91.4%																																																				
末広幼稚園	私立	190	164	86.3%																																																				
向台幼稚園	公立	70	56	80.0%																																																				
合計		400	348	87.0%																																																				
園名	公私	定員	0歳	1~2歳	3~5歳	入所児童数																																																		
富里保育園	私立	210	11 (3)	45 (18)	136 (2)	192 (23)																																																		
地域内0~5歳人口動向	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>0歳</th> <th>1~2歳</th> <th>3~5歳</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>H22</td><td>238</td><td>478</td><td>674</td><td>1,390</td></tr> <tr><td>H23</td><td>223</td><td>475</td><td>682</td><td>1,380</td></tr> <tr><td>H24</td><td>225</td><td>472</td><td>693</td><td>1,390</td></tr> <tr><td>H25</td><td>221</td><td>434</td><td>723</td><td>1,378</td></tr> <tr><td>H26</td><td>209</td><td>439</td><td>712</td><td>1,360</td></tr> <tr><td>H27</td><td>207</td><td>435</td><td>706</td><td>1,348</td></tr> <tr><td>H28</td><td>206</td><td>432</td><td>700</td><td>1,338</td></tr> <tr><td>H29</td><td>204</td><td>428</td><td>695</td><td>1,327</td></tr> <tr><td>H30</td><td>202</td><td>425</td><td>689</td><td>1,316</td></tr> <tr><td>H31</td><td>201</td><td>422</td><td>684</td><td>1,307</td></tr> </tbody> </table> <p>※平成 27 年度以降は推計値</p>		0歳	1~2歳	3~5歳	合計	H22	238	478	674	1,390	H23	223	475	682	1,380	H24	225	472	693	1,390	H25	221	434	723	1,378	H26	209	439	712	1,360	H27	207	435	706	1,348	H28	206	432	700	1,338	H29	204	428	695	1,327	H30	202	425	689	1,316	H31	201	422	684	1,307
	0歳	1~2歳	3~5歳	合計																																																				
H22	238	478	674	1,390																																																				
H23	223	475	682	1,380																																																				
H24	225	472	693	1,390																																																				
H25	221	434	723	1,378																																																				
H26	209	439	712	1,360																																																				
H27	207	435	706	1,348																																																				
H28	206	432	700	1,338																																																				
H29	204	428	695	1,327																																																				
H30	202	425	689	1,316																																																				
H31	201	422	684	1,307																																																				

(3) 南部地域

対象行政区	立沢台，東立沢，太木，大堀，旧平，高野，武州，太陽の丘，十倉台，両国，宮内，旭，葉山，葉山台第一，葉山台第二，三区，二重堀，高松，高松入，四区，実の口，金堀，吉川，立沢ニュータウン，二区，ハニワ台ニュータウン																																																							
地域の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・高崎川の最上流部を中心とする自然が豊かな地区で，古くから集落が形成されている。 ・南部は，畑作を中心とする農業地域であり，市の農業の基幹的地域。 																																																							
教育・保育施設等分布図																																																								
幼稚園・認可保育園の在園状況	<p>【幼稚園の在園状況】 (平成26年5月1日現在)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>園名</th> <th>公私</th> <th>定員</th> <th>在籍数</th> <th>定員充足率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>浩養幼稚園</td> <td>公立</td> <td>50</td> <td>26</td> <td>52.0%</td> </tr> </tbody> </table> <p>【認可保育所の在園状況】()内は待機児童数 (平成26年6月1日現在)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>園名</th> <th>公私</th> <th>定員</th> <th>0歳</th> <th>1~2歳</th> <th>3~5歳</th> <th>入所児童数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>葉山保育園</td> <td>公立</td> <td>100</td> <td>5 (4)</td> <td>36 (22)</td> <td>76 (8)</td> <td>117 (34)</td> </tr> <tr> <td>こひつじ保育園</td> <td>私立</td> <td>120</td> <td>9 (2)</td> <td>42 (4)</td> <td>81 (0)</td> <td>132 (6)</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td></td> <td>220</td> <td>14 (6)</td> <td>78 (26)</td> <td>157 (8)</td> <td>249 (40)</td> </tr> </tbody> </table>	園名	公私	定員	在籍数	定員充足率	浩養幼稚園	公立	50	26	52.0%	園名	公私	定員	0歳	1~2歳	3~5歳	入所児童数	葉山保育園	公立	100	5 (4)	36 (22)	76 (8)	117 (34)	こひつじ保育園	私立	120	9 (2)	42 (4)	81 (0)	132 (6)	合計		220	14 (6)	78 (26)	157 (8)	249 (40)																	
園名	公私	定員	在籍数	定員充足率																																																				
浩養幼稚園	公立	50	26	52.0%																																																				
園名	公私	定員	0歳	1~2歳	3~5歳	入所児童数																																																		
葉山保育園	公立	100	5 (4)	36 (22)	76 (8)	117 (34)																																																		
こひつじ保育園	私立	120	9 (2)	42 (4)	81 (0)	132 (6)																																																		
合計		220	14 (6)	78 (26)	157 (8)	249 (40)																																																		
地域内0~5歳人口動向	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>0歳</th> <th>1~2歳</th> <th>3~5歳</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>H22</td><td>108</td><td>223</td><td>268</td><td>599</td></tr> <tr><td>H23</td><td>97</td><td>211</td><td>289</td><td>597</td></tr> <tr><td>H24</td><td>105</td><td>204</td><td>288</td><td>597</td></tr> <tr><td>H25</td><td>106</td><td>189</td><td>288</td><td>583</td></tr> <tr><td>H26</td><td>99</td><td>218</td><td>268</td><td>585</td></tr> <tr><td>H27</td><td>97</td><td>214</td><td>263</td><td>574</td></tr> <tr><td>H28</td><td>96</td><td>210</td><td>259</td><td>565</td></tr> <tr><td>H29</td><td>94</td><td>207</td><td>254</td><td>555</td></tr> <tr><td>H30</td><td>92</td><td>203</td><td>249</td><td>544</td></tr> <tr><td>H31</td><td>90</td><td>199</td><td>245</td><td>534</td></tr> </tbody> </table> <p>※平成27年度以降は推計値</p>		0歳	1~2歳	3~5歳	合計	H22	108	223	268	599	H23	97	211	289	597	H24	105	204	288	597	H25	106	189	288	583	H26	99	218	268	585	H27	97	214	263	574	H28	96	210	259	565	H29	94	207	254	555	H30	92	203	249	544	H31	90	199	245	534
	0歳	1~2歳	3~5歳	合計																																																				
H22	108	223	268	599																																																				
H23	97	211	289	597																																																				
H24	105	204	288	597																																																				
H25	106	189	288	583																																																				
H26	99	218	268	585																																																				
H27	97	214	263	574																																																				
H28	96	210	259	565																																																				
H29	94	207	254	555																																																				
H30	92	203	249	544																																																				
H31	90	199	245	534																																																				

